

平成 30 年度実施 卒業生対象の追跡調査【歯科衛生学科】

【全体概要】

19 期卒業生 (H29 年度卒) 19/77 名とその就業先施設 15/37 施設を対象に卒業後 3 年経過したところで、就業状況と歯科衛生学科の基礎教育、社会人として身につけた能力に関する追跡調査を実施した。

1) 就業状況について(卒業生からの回答)

回答があった 19 名の現在の就職先は、一般開業医が 12 名、病院歯科 1 名、大学附属病院 4 名、企業が 1 名、その他 1 名で、卒業後も同じ職場に勤務している者 15 名(78.9%)、最初の職場を退職し1ヶ月以内に再就職した者 2 名(10.5%)、1ヶ月以上離職していたが再就職した者は 1 名(5.3%)、卒業後就職していない者 1 名(5.3%)であった。転職の理由として、「身体的・体力的な問題」、「精神的な負担」、「経済的な理由」、「他の形態の職種に興味があった」などを理由としてあげていた。

2) 短大で充実すべき教育内容について(卒業生並びに就職先施設からの回答)

診療の補助・介助業務 34 項目、予防処置業務 14 項目、保健指導関連業務 19 項目、口腔介護関連業務 14 項目について調査した。

卒業生並びに就職先施設の 5 割以上が充実を望む項目として、診療の補助・介助業務に関しては 20 項目、就職先施設からは 12 項目で、両者ともに選択した共通項目は 8 項目であった。予防処置業務では卒業生は全ての 14 項目、就職先施設からは 13 項目で、共通項目は 13 項目であった。保健指導関連業務では卒業生は 13 項目、就職先施設からは 12 項目、共通項目は 11 項目であった。口腔介護関連業務では卒業生は 4 項目、就職先施設からは 2 項目で、共通項目は 1 項目であった。

3) 対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力、処理力、思考力、専門力等の修得状況について 対人基礎力 3 項目、対自己基礎力 3 項目、対課題基礎力 3 項目、処理力 2 項目、思考力 2 項目、専門力 2 項目を調査した。

(1) 卒業生からの回答

対人基礎力の内「協働力」については「卒業時に身につけていた」、対自己基礎力、対課題基礎力については半数以上の卒業生は 3 年間で身につけたと回答しているが、専門知識や技術・技能に関しては逆に半数以上の卒業生が未だに十分でないと回答している。また、半数以上の者が全ての能力に対し、短大の教育の中で強化・充実を望んでいた。

(2) 就職先施設からの回答

対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力ともに 7~15 施設が職場で必要とする能力で

あると回答していた。専門知識と技術・技能についてはすべての施設が必要と回答していた。また、現在の職員に不足している能力として「統率力」、「自信創出力」、「課題発見力」、「計画立案力」、「専門技術・技能」、「専門能力」と5～8施設が回答していた。

4) 短大の教育全般(卒業生 8 項目、就職先施設 10 項目)について

卒業生からは知識やコミュニケーション、接遇に関する教育は概ね適切になされているという評価であった。就職先施設からは、技術面や一般常識・教養、人間性や自己管理に関する評価は低い結果となった。短大での教育では卒業生は約9割、就職先施設は6割が満足であったと回答している。また、今後も本学の卒業生を採用したいとすべての施設が回答した。

【課題】

- 1) 卒業生のアンケート回収率は 24.75%で昨年の 23.25%より若干増えはしているが、今年度も大変低いことから回収率を上げるためには、引き続き卒業時にアンケート調査を卒後 3 年に実施することの伝達が必要となる。
- 2) 今年度の調査では離職者からの回答が寄せられていないが、潜在的に存在していることが考えられるので、対策として昨年同様に既卒者に対する就職相談を実施していることを卒業時に広報し、離職後の再就職の支援を行うとともに求人側と求職側のミスマッチを極力防ぐことが必要で、そのためにも求職側の細かい情報(求人票による情報だけでなく)を収集しておくことが必要となる。
- 3) 短大での基礎教育を充実させるためには、就職先の施設での評価と卒業生による評価が大変役に立つ。特に、今年度から学外実習先に開業医を組み込んだので、これを活用して3年次に行われる臨床・臨地実習での実践教育との関連も考慮に入れて基礎教育を組み立て、教育の底上げに努めることが課題といえる。
- 4) 早期離職の原因の一つに専門知識や技術・技能の不足を痛感し、退職に至る者も少なくない。そのため、卒後早期に不足と感じた内容については、短大の教育施設の活用も可能であることを周知するとともに、再教育システムを考案する必要がある。
- 5) 今回、短大の教育全般に関する卒業生からの評価は高いものであったが、この評価を維持するためには全ての教職員が常に同じ目線で対応することが重要で、教職員間での学生対応を統一することが必要となる。

アンケート集計結果【卒業生対象】

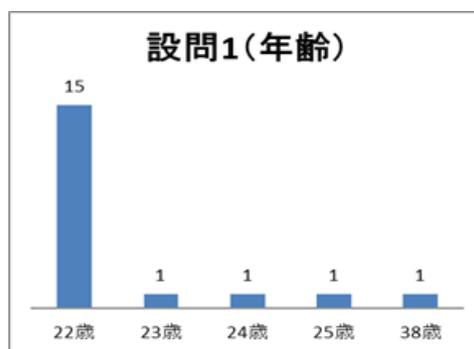
福岡医療短期大学 歯科衛生学科同窓会会員（卒業生）へのアンケート

歯科衛生学科 19 期生(H29 年度卒):回答 19/77 名 2019/3/1 郵送

I) 就業状況について、お聞かせください

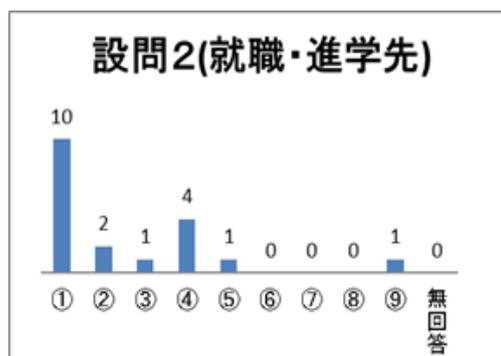
設問 1 : あなたの**年齢**についてお答えください。

- 女性:19/77 人
- 年齢:グラフ参照



設問 2 : **現在の就職・進学先** について該当する番号に○をつけてください。

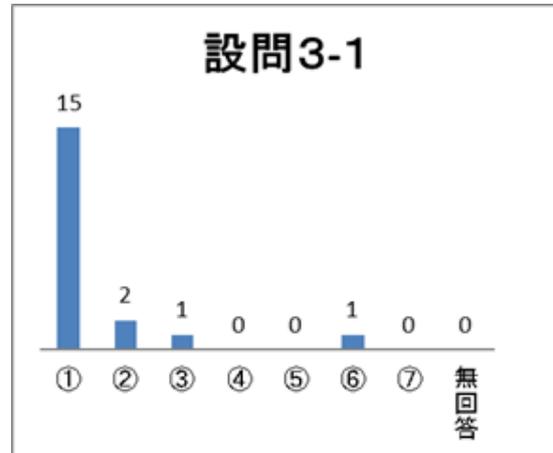
- ①一般歯科
- ②専門歯科(小児歯科・矯正歯科・口腔外科)
- ③病院歯科(リハビリテーション病院含む)
- ④大学附属病院(歯学部附属・医学部附属含む)
- ⑤企業
- ⑥福祉施設
- ⑦進学・学生(大学、短期大学、専門学校 等)
→具体的に
・回答なし
- ⑧現在は就職・進学していない(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)
- ⑨その他
→具体的に
・回答なし



設問3-1：卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。

〔平成31年3月末（予定を含む）でお答えください〕

- ①卒業してから現在まで
同じ勤務先(施設)で働いている
- ②最初の職場を退職し、1ヶ月以内に
歯科衛生士として再就職した
- ③最初の職場を退職し、1ヶ月以上
離職したが再就職した
- ④最初の職場を退職し、
その後再就職していない
- ⑤一時的に仕事に就いた
- ⑥卒業してから就職していない
- ⑦その他
→具体的に
・回答なし



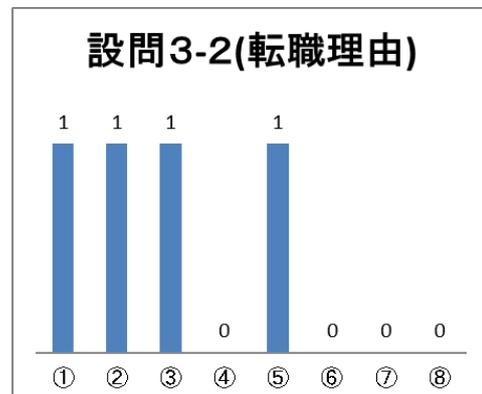
設問3-2：「転職 経験あり」の方のみ、お答えください：

→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

- ・営業事務

→ その理由は、なにでしたか？該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- ①腰痛等の「身体的・体力的」な問題
- ②医療・福祉領域における「精神的」な負担
- ③処遇などの経済的な理由
- ④「待遇・人間関係」などの職場内の問題
- ⑤他の形態の職種に興味を持ったため
- ⑥出産・子育て等のため
- ⑦その他
→具体的に
・引っ越した為。

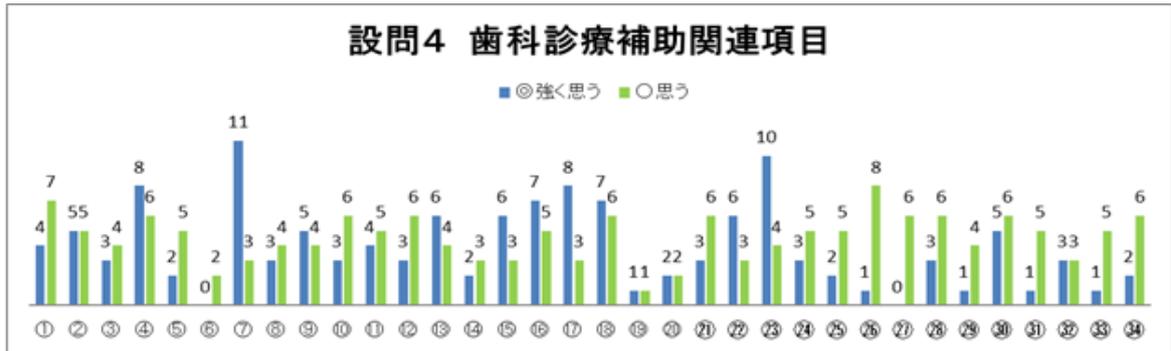


Ⅱ) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください

設問4：本学で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、

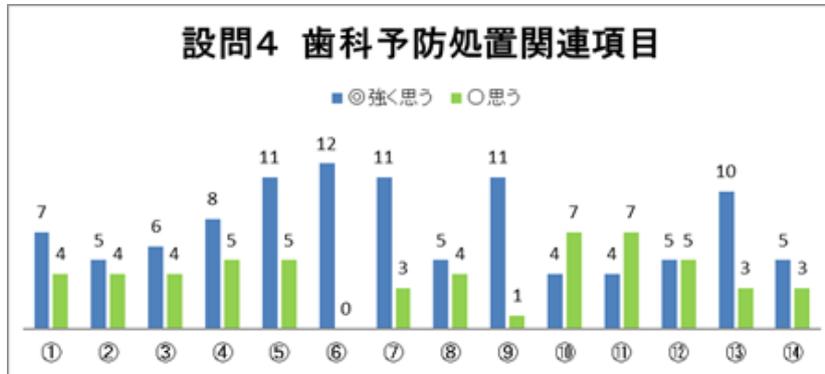
◎＝強く思う、○＝思う の記号をつけてください。

< 歯科診療補助関連項目 >



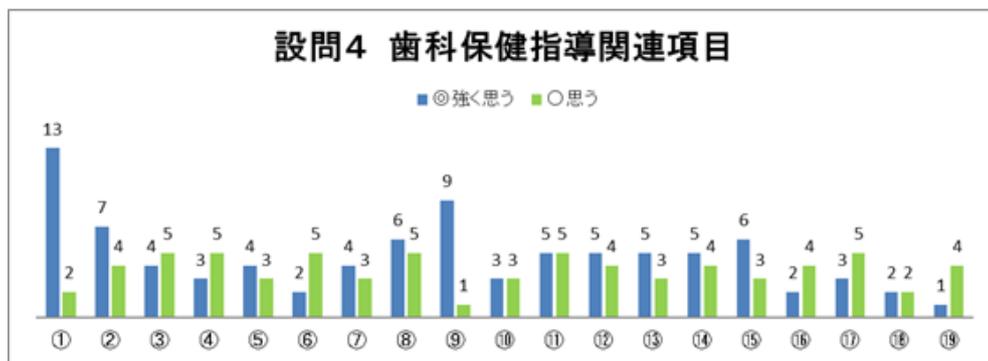
- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ① 切削時のバキュームテクニック | ⑱ エックス線フィルムのマウント技術 |
| ② 器材の受け渡し | ⑳ 歯周外科手術のアシスト技術 |
| ③ ラバーダム防湿 | ㉑ 入れ歯の研磨技術 |
| ④ アルジネート印象材の取り扱い | ㉒ 補綴物の研磨・調整技術 |
| ⑤ ゴム質(シリコン)印象材の取り扱い | ㉓ 暫間被覆冠の作製・調整・仮着技術 |
| ⑥ スナップ印象採得 | ㉔ 口腔外科器具の取り扱い |
| ⑦ アルジネート・寒天による連合印象採得 | ㉕ 抜歯処置のアシスト技術 |
| ⑧ ゴム質(シリコン)印象材による精密印象採得 | ㉖ インプラントに関する知識 |
| ⑨ 模型材(石膏)の取り扱い | ㉗ インプラントに関する技術 |
| ⑩ 合着材・接着材の取り扱い | ㉘ ホワイトニングに関する知識 |
| ⑪ 仮着材の取り扱い | ㉙ ホワイトニングに関する技術 |
| ⑫ 仮封材の取り扱い | ⑳ 感染対策 |
| ⑬ 充填材の取り扱い | ㉑ 診療室の環境整備 |
| ⑭ 充填物の研磨 | ㉒ 血圧測定 |
| ⑮ 口腔内写真の撮影 | ㉓ 救急蘇生 |
| ⑯ ブローチ綿花の作成 | ㉔ AEDの取り扱い |
| ⑰ 口腔内のエックス線フィルムの固定 | ○ その他 |
| ⑱ エックス線照射口の位置決定 | → 具体的に |
| | ・回答なし |

< 歯科予防処置関連項目 >



- | | |
|------------------------|------------------|
| ①フッ化物の知識 | ⑩スケーラーのシャープニング知識 |
| ②フッ化物歯面塗布法 | ⑪スケーラーのシャープニング技術 |
| ③シーラント | ⑫PMTCの知識 |
| ④スケーリング・ルートプレーニングの基礎知識 | ⑬PMTCの技術 |
| ⑤スケーリング・ルートプレーニングの技術 | ⑭研磨剤・歯磨剤の使い分け |
| ⑥ハンドスケーラーによるスケーリング | ○その他 |
| ⑦超音波・エアースケーラーによるスケーリング | →具体的に |
| ⑧プロービングの知識 | ・歯周病に関する基礎知識 |
| ⑨プロービング技術 | |

< 歯科保健指導関連項目 >



- | | |
|-----------------|--------------|
| ①ブラッシング指導 | ⑫小児への歯科保健指導 |
| ②歯ブラシの選択・処方について | ⑬保護者への歯科保健指導 |
| ③歯磨剤の選択・処方について | ⑭成人への歯科保健指導 |

- ④デンタルフロスの使い方
- ⑤歯間ブラシの使い方
- ⑥電動歯ブラシの使い方
- ⑦PCRの記録の採り方
- ⑧カウンセリング技術
- ⑨子どもとの関わり・接し方
- ⑩食事・栄養指導
- ⑪妊産婦への歯科保健指導

- ⑮高齢者への歯科保健指導
- ⑯要介護者への歯科保健指導
- ⑰介護者・家族への歯科保健指導
- ⑱施設スタッフへの歯科保健指導
- ⑲禁煙支援
- その他
→具体的に
・回答なし

<口腔介護関連項目>



- ①摂食・嚥下機能の知識
- ②摂食・嚥下障害の知識
- ③摂食・嚥下機能の評価
- ④食形態の知識
- ⑤内服薬の種類と効能に関する知識
- ⑥内服薬剤により発現する口腔内の異常
- ⑦口腔に関連する基礎疾患の知識
- ⑧要介護者に対する口腔ケア技術
- ⑨社会福祉に関する知識
- ⑩生活介護・身体介護に関する技術
- ⑪身体介護に関する技術
- ⑫他職種との理解と連携
- ⑬口腔リハビリの知識
- ⑭口腔機能向上支援
- その他
→具体的に

設問6-1, 6-2 : 社会人としての能力について、お聞かせください。

①卒業時に身に付けていた程度

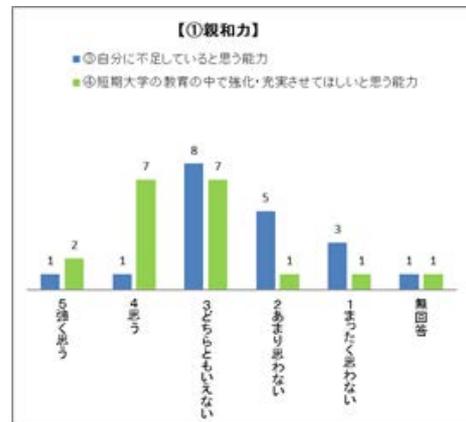
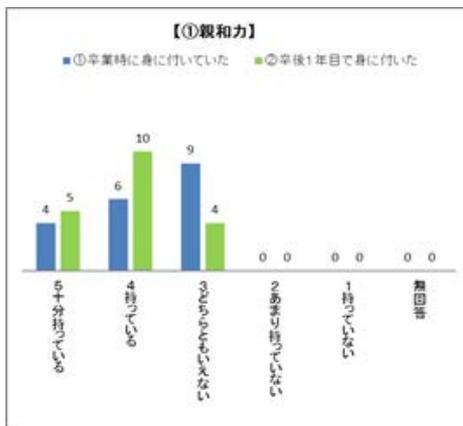
②卒後1年目に身に付けていた程度

③自分に不足していると思う能力

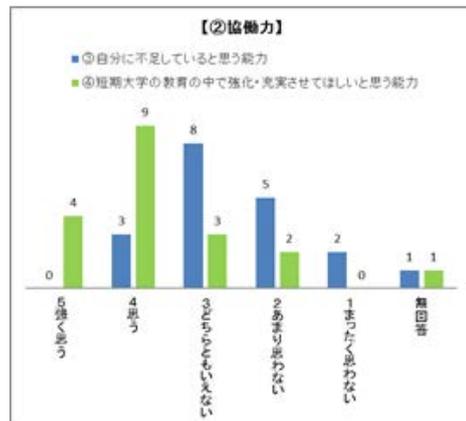
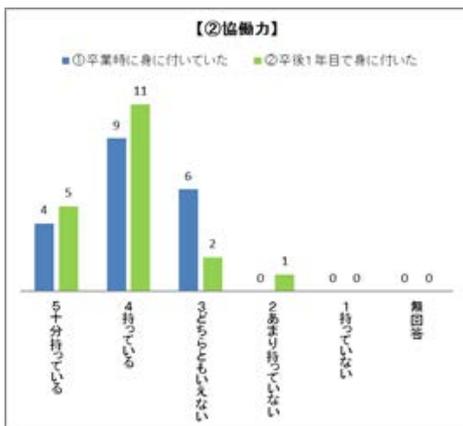
④短期大学の教育の中で強化・充実させてほしいと思う能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

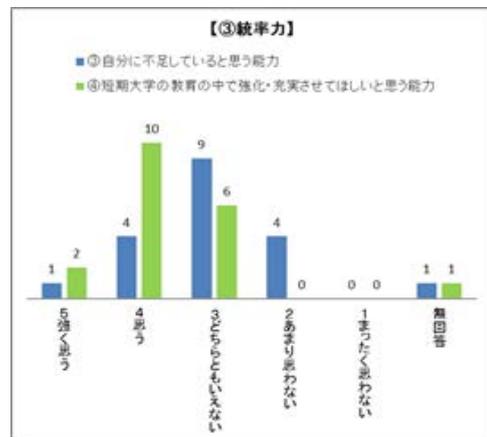
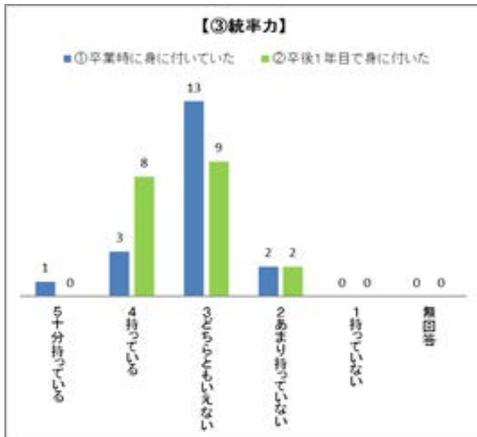
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力:対人基礎力1〕



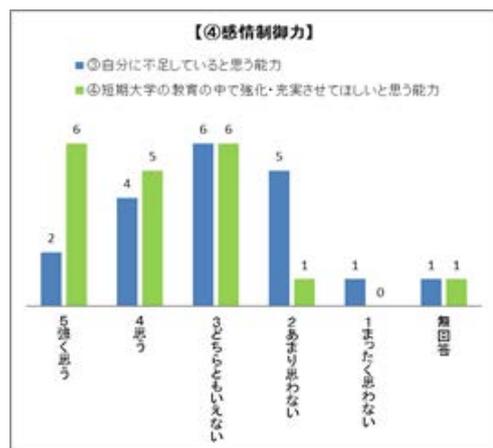
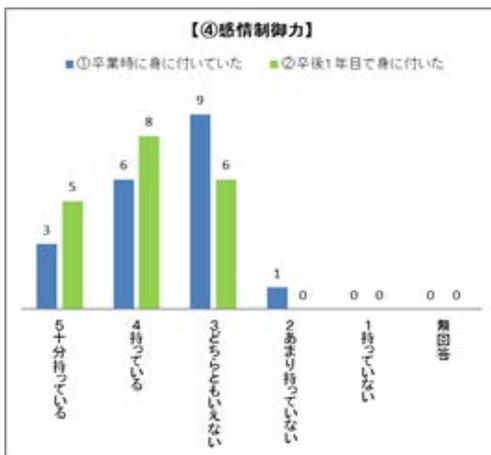
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力:対人基礎力2〕



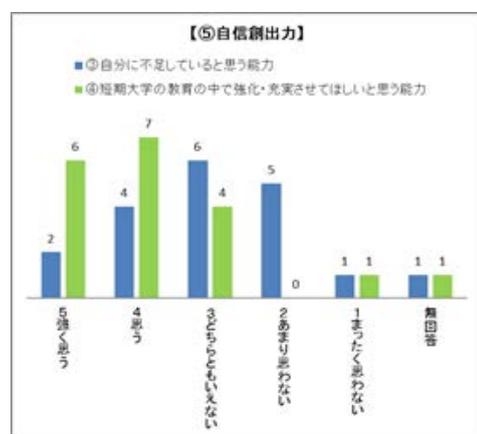
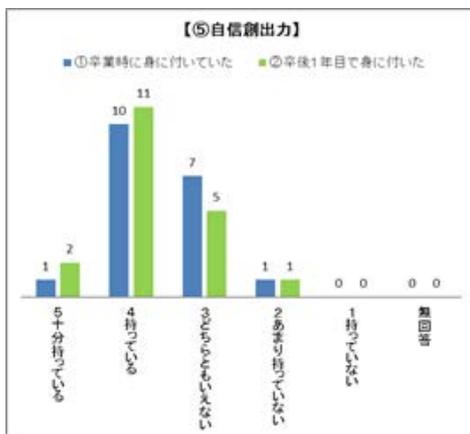
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力:対人基礎力3〕



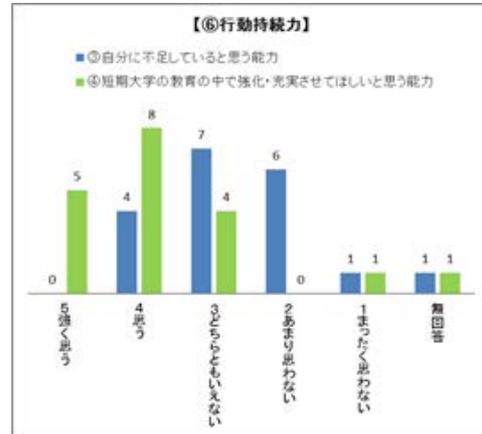
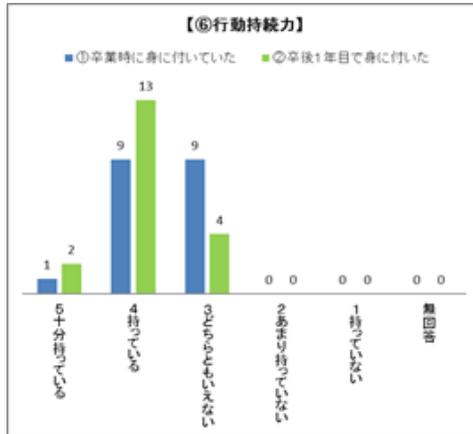
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力:対自己基礎力1〕



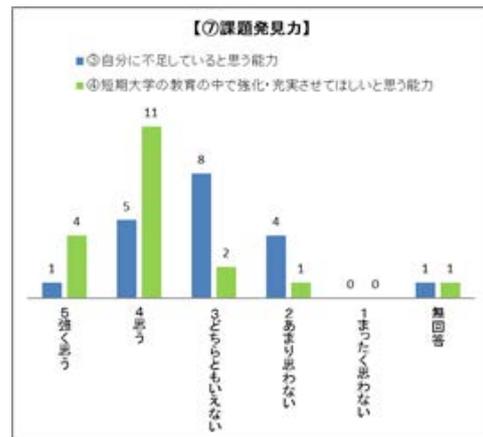
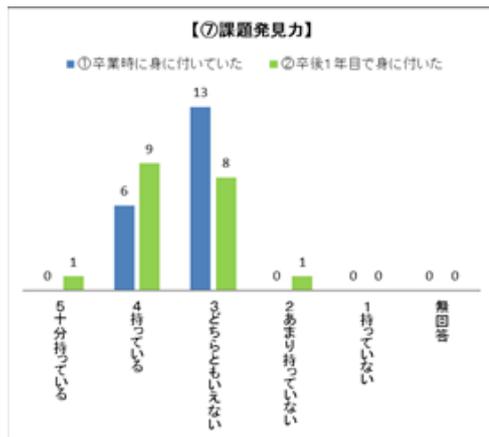
(5) やる気を維持する力〔自信創出力:対自己基礎力2〕



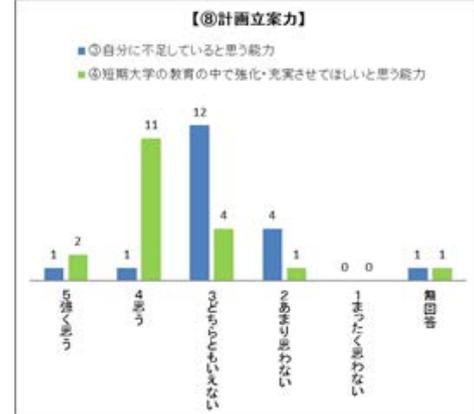
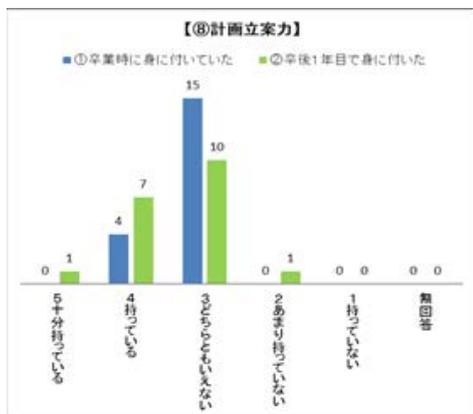
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力:対自己基礎力3〕



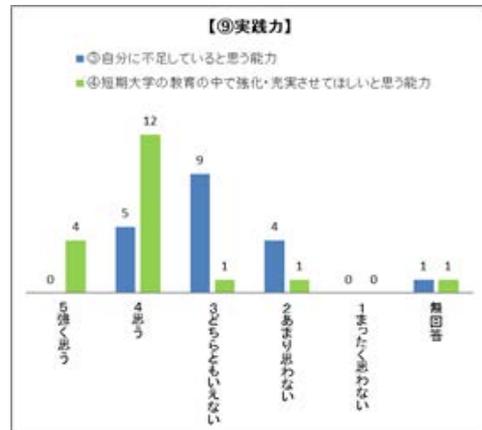
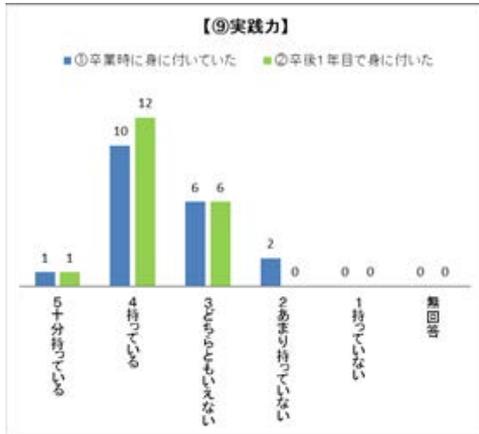
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力:対課題基礎力1〕



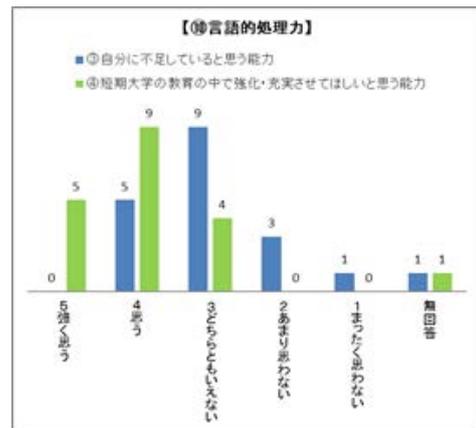
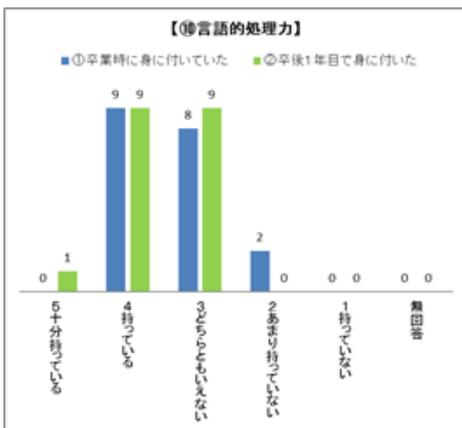
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力:対課題基礎力2〕



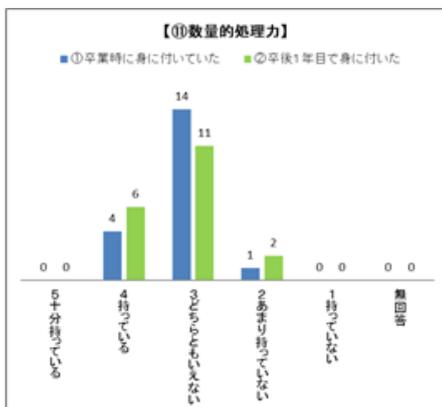
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力:対課題基礎力3〕



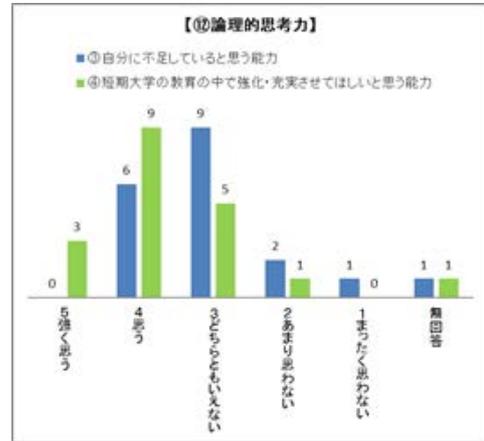
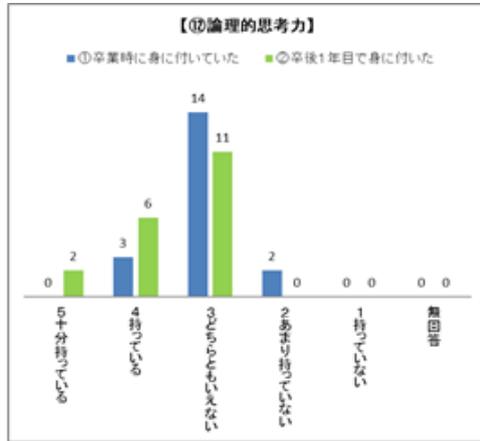
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力:処理力1〕



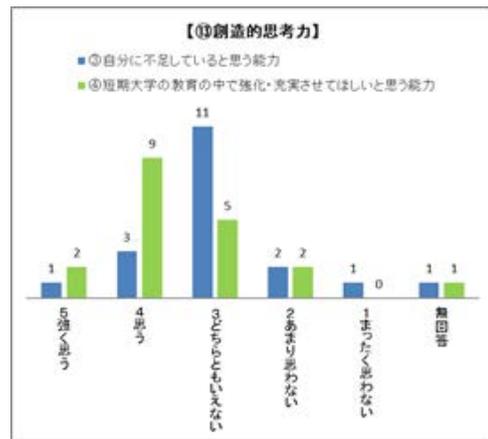
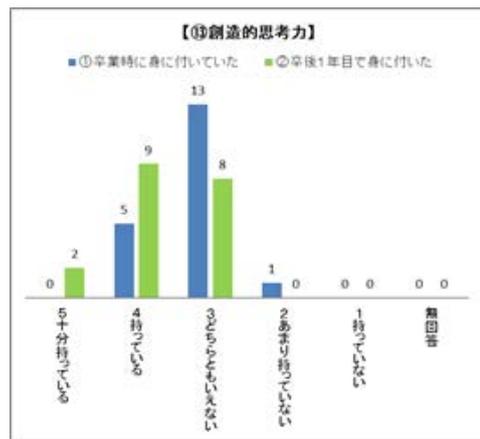
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力:処理力2〕



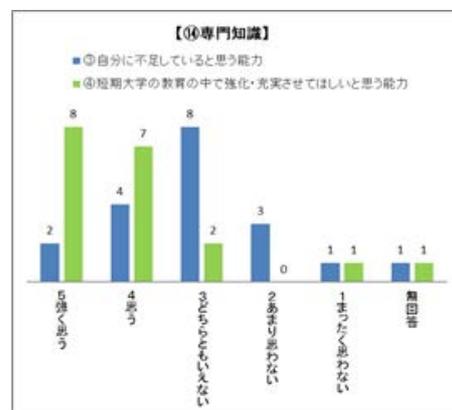
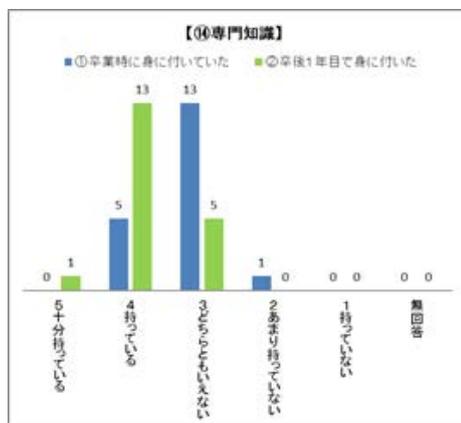
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力:思考力1〕



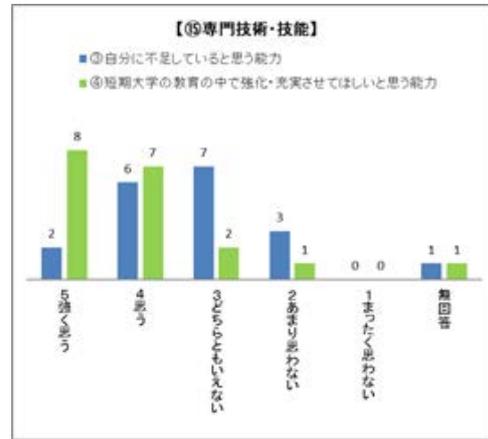
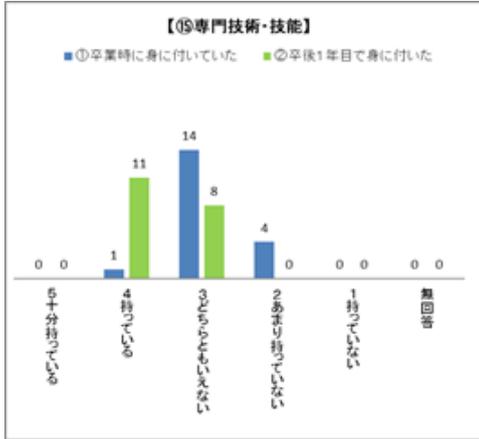
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力:思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識:専門力1〕

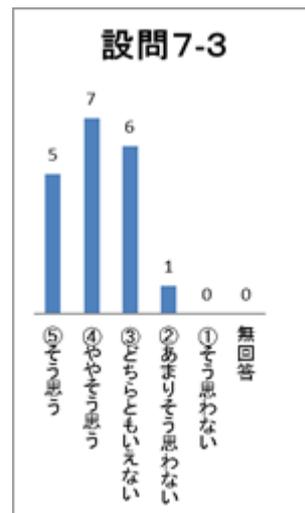
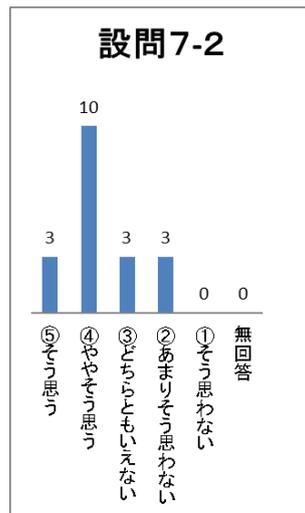
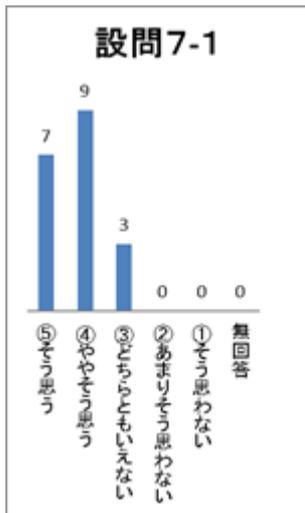


(15)現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能:専門力2〕

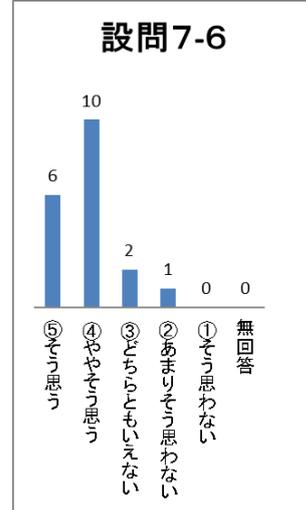
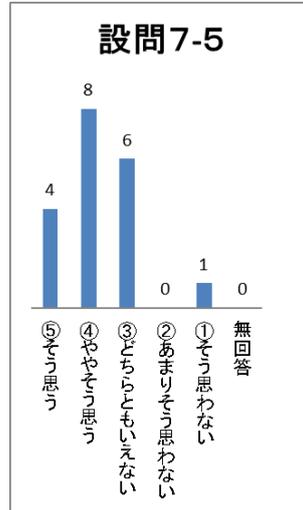
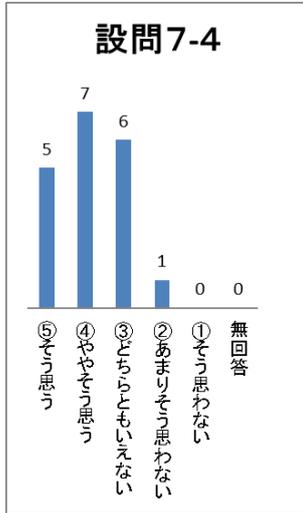


設問7：本学での教育全般について

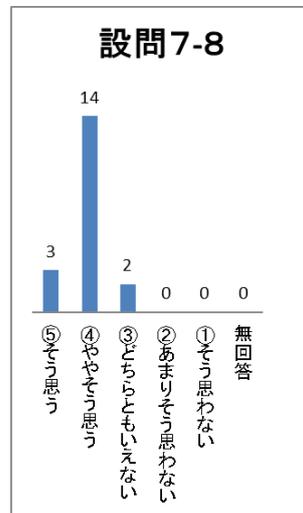
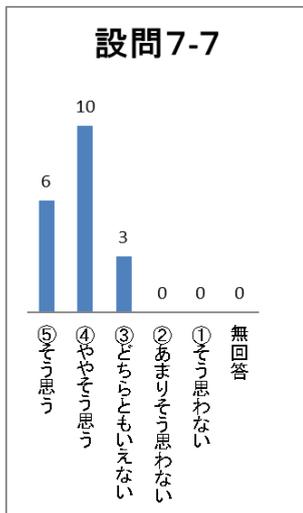
(1)専門領域における知識面で (2)専門領域における技術面で (3)一般常識や教養が身につくの教育は適切であった。 の教育は適切であった。 いた。



- (4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。
- (5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされていた。
- (6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



- (7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。
- (8) 短期大学での教育は、総合的に満足であった。

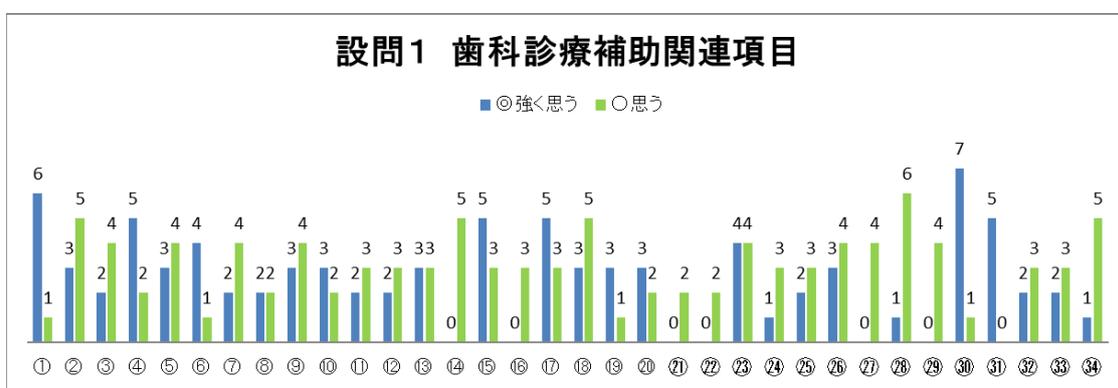


福岡医療短期大学 歯科衛生学科 卒業生に関するアンケート

歯科衛生学科 19 期生卒業生就職先施設：回答 15/37 2019/3/1 郵送

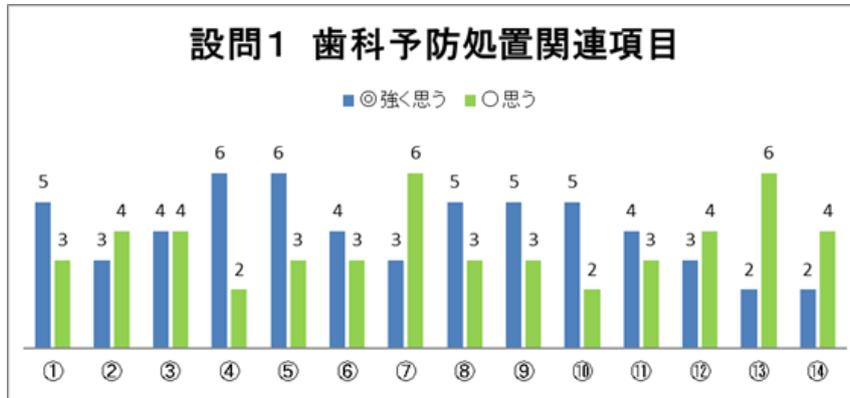
設問 1：短期大学（本学を含む）で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、**◎=強く思う、○=思う** の記号をつけてください。

< 歯科診療補助関連項目 >



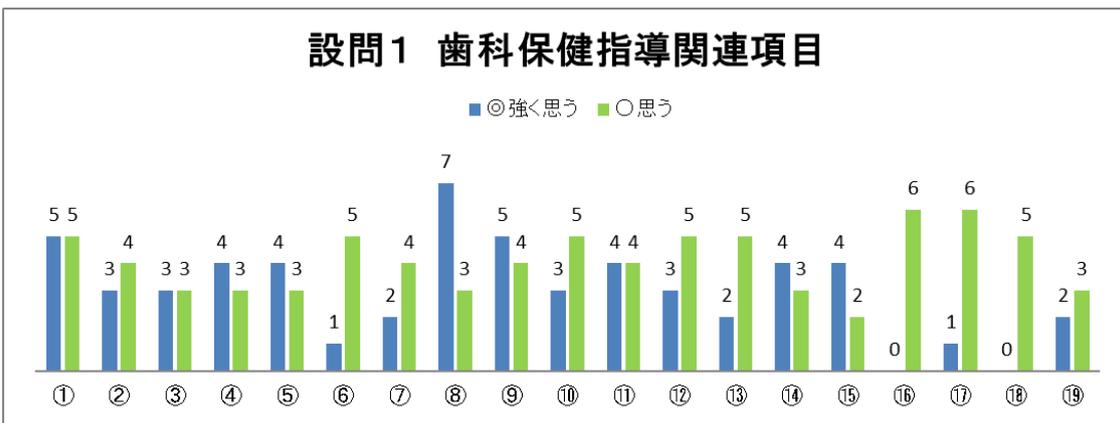
- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①切削時のバキュームテクニック | ⑱エックス線フィルムのマウント技術 |
| ②器材の受け渡し | ⑳歯周外科手術のアシスト技術 |
| ③ラバーダム防湿 | ㉑入れ歯の研磨技術 |
| ④アルジネート印象材の取り扱い | ㉒補綴物の研磨・調整技術 |
| ⑤ゴム質(シリコン)印象材の取り扱い | ㉓暫冠被覆冠の作製・調整・仮着技術 |
| ⑥スナップ印象採得 | ㉔口腔外科器具の取り扱い |
| ⑦アルジネート・寒天による連合印象採得 | ㉕抜歯処置のアシスト技術 |
| ⑧ゴム質(シリコン)印象材による精密印象採得 | ㉖インプラントに関する知識 |
| ⑨模型材(石膏)の取り扱い | ㉗インプラントに関する技術 |
| ⑩合着材・接着材の取り扱い | ㉘ホワイトニングに関する知識 |
| ⑪仮着材の取り扱い | ㉙ホワイトニングに関する技術 |
| ⑫仮封材の取り扱い | ⑳感染対策 |
| ⑬充填材の取り扱い | ㉑診療室の環境整備 |
| ⑭充填物の研磨 | ㉒血圧測定 |
| ⑮口腔内写真の撮影 | ㉓救急蘇生 |
| ⑯ブローチ綿花の作成 | ㉔AEDの取り扱い |
| ⑰口腔内のエックス線フィルムの固定 | |
| ⑱エックス線照射口の位置決定 | |

< 歯科予防処置関連項目 >



- | | |
|------------------------|------------------|
| ①フッ化物の知識 | ⑧プロービングの知識 |
| ②フッ化物歯面塗布法 | ⑨プロービング技術 |
| ③シーラント | ⑩スケーラーのシャープニング知識 |
| ④スケーリング・ルートプレーニングの基礎知識 | ⑪スケーラーのシャープニング技術 |
| ⑤スケーリング・ルートプレーニングの技術 | ⑫PMTCの知識 |
| ⑥ハンドスケーラーによるスケーリング | ⑬PMTCの技術 |
| ⑦超音波・エアースケーラーによるスケーリング | ⑭研磨剤・歯磨剤の使い分け |

< 歯科保健指導関連項目 >



- | | |
|-----------------|--------------|
| ①ブラッシング指導 | ⑪妊産婦への歯科保健指導 |
| ②歯ブラシの選択・処方について | ⑫小児への歯科保健指導 |
| ③歯磨剤の選択・処方について | ⑬保護者への歯科保健指導 |
| ④デンタルフロスの使い方 | ⑭成人への歯科保健指導 |

- ⑤ 歯間ブラシの使い方
- ⑥ 電動歯ブラシの使い方
- ⑦ PCRの記録の採り方
- ⑧ カウンセリング技術
- ⑨ 子どもとの関わり・接し方
- ⑩ 食事・栄養指導

- ⑮ 高齢者への歯科保健指導
- ⑯ 要介護者への歯科保健指導
- ⑰ 介護者・家族への歯科保健指導
- ⑱ 施設スタッフへの歯科保健指導
- ⑲ 禁煙支援

<口腔介護関連項目>



- ① 摂食・嚥下機能の知識
- ② 摂食・嚥下障害の知識
- ③ 摂食・嚥下機能の評価
- ④ 食形態の知識
- ⑤ 内服薬の種類と効能に関する知識
- ⑥ 内服薬剤により発現する口腔内の異常
- ⑦ 口腔に関連する基礎疾患の知識

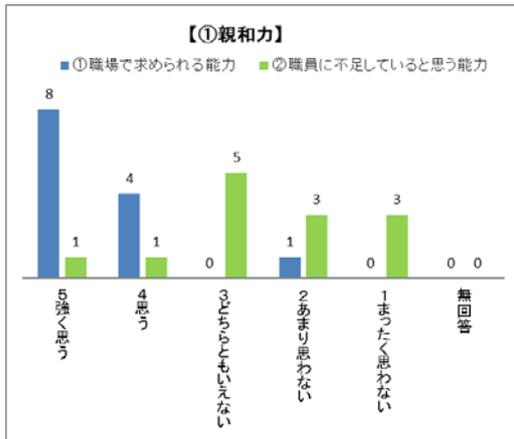
- ⑧ 要介護者に対する口腔ケア技術
- ⑨ 社会福祉に関する知識
- ⑩ 生活介護・身体介護に関する技術
- ⑪ 身体介護に関する技術
- ⑫ 他職種との理解と連携
- ⑬ 口腔リハビリの知識
- ⑭ 口腔機能向上支援

設問2：社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学（本学を含む）を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

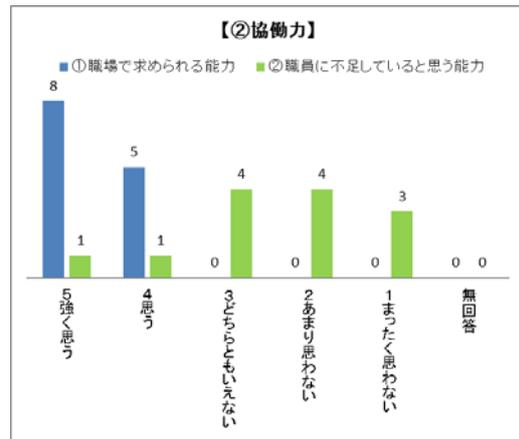
(1) 円満な人間関係を築く力

[親和力:対人基礎力1]



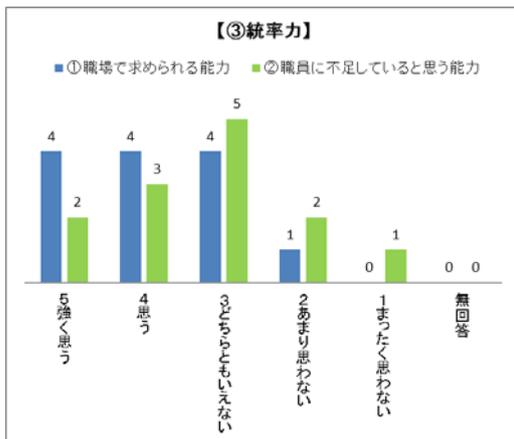
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力

[協働力:対人基礎力2]



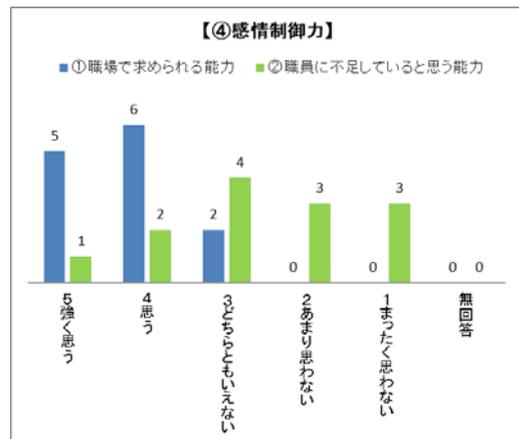
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力

[統率力:対人基礎力3]



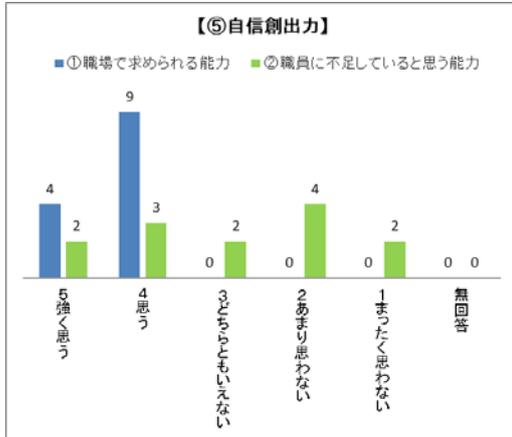
(4) 自分の感情をコントロールする力

[感情制御力:対自己基礎力1]



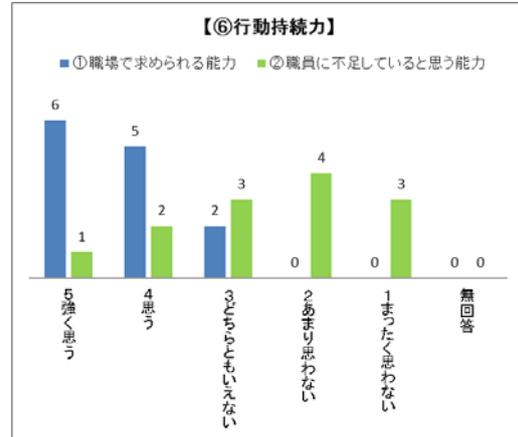
(5) やる気を維持する力

[自信創出力: 対自己基礎力2]



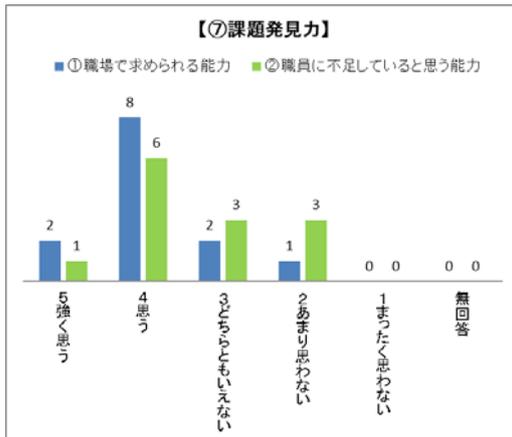
(6) 良い行動を習慣として続けられる力

[行動持続力: 対自己基礎力3]



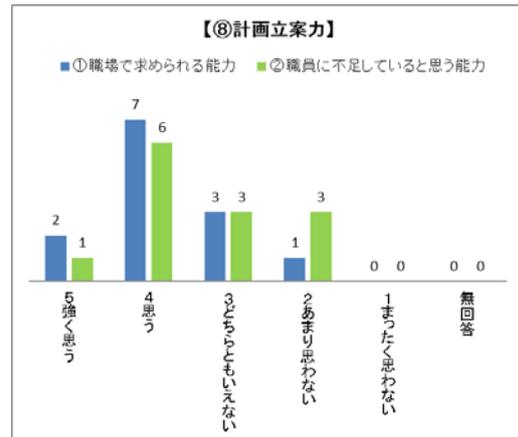
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力

[課題発見力: 対課題基礎力1]



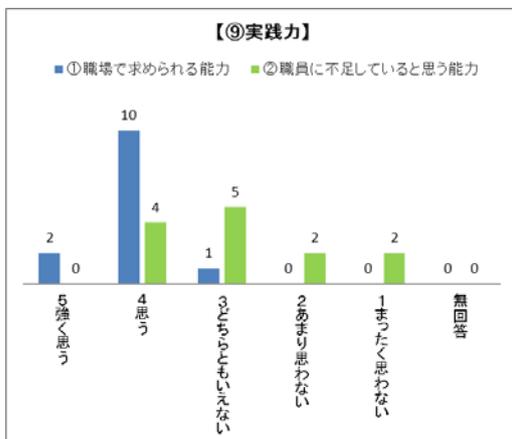
(8) 課題解決のための計画を立案する力

[計画立案力: 対課題基礎力2]



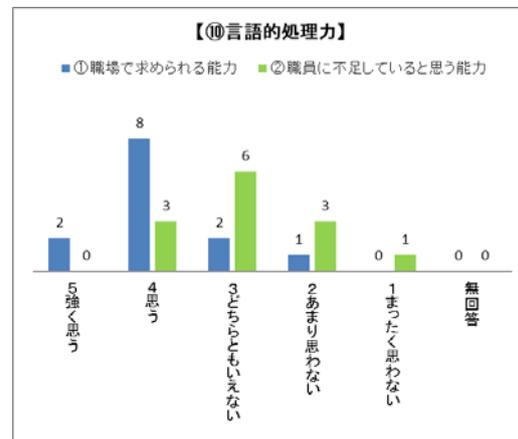
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力

[実践力: 対課題基礎力3]



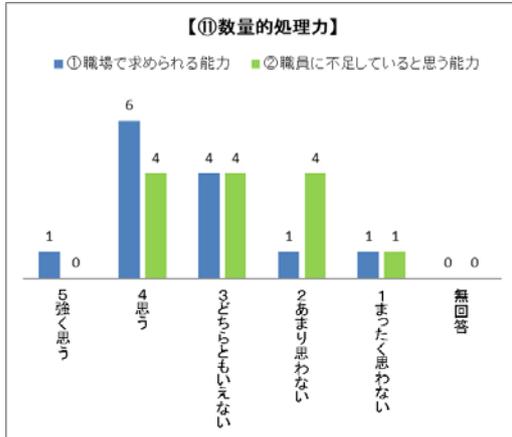
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力

[言語的処理力: 処理力1]



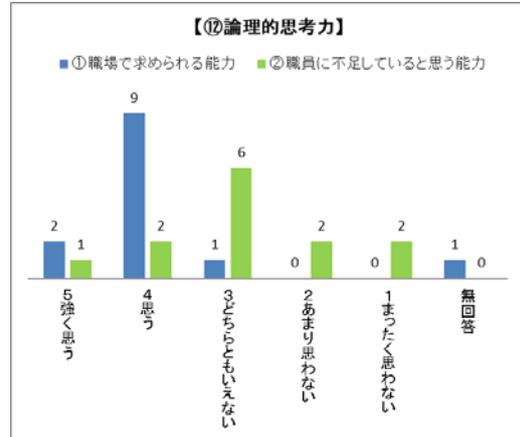
(11) データや数字をすばやく読み取る力

〔数量的処理力:処理力2〕



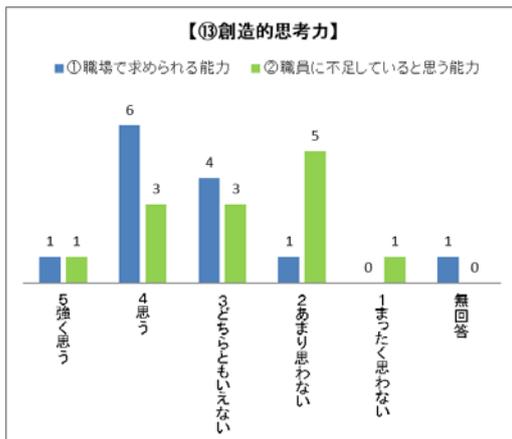
(12) 論理的に物事を分析・構築する力

〔論理的思考力:思考力1〕



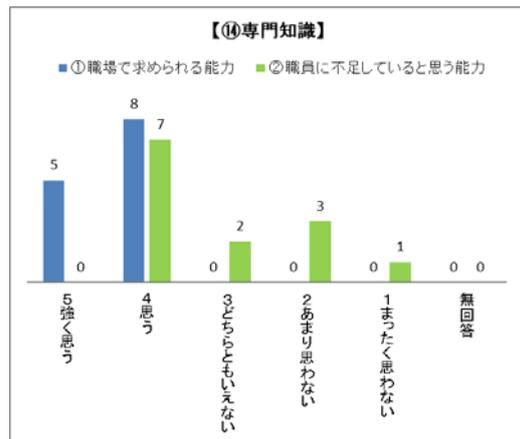
(13) 独自のものの見方や考え方をする力

〔創造的思考力:思考力2〕



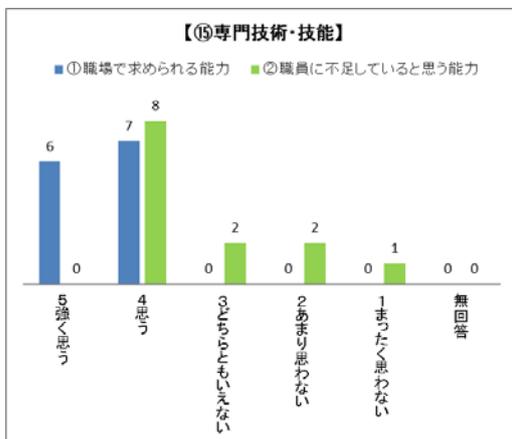
(14) 現在の仕事に関する専門的な知識

〔専門知識:専門力1〕



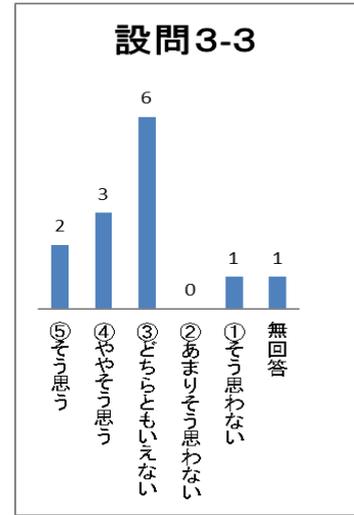
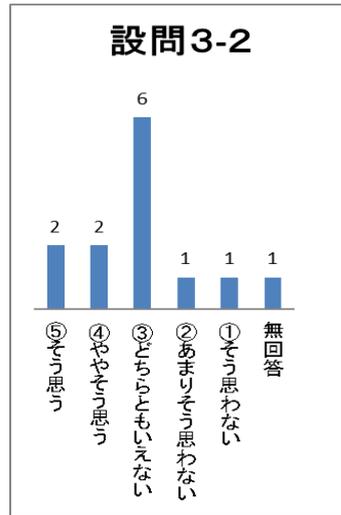
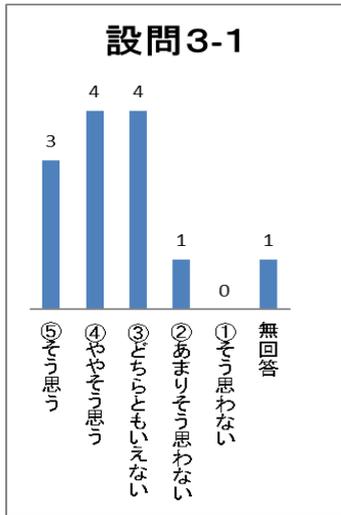
(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ

〔専門技術・技能:専門力2〕

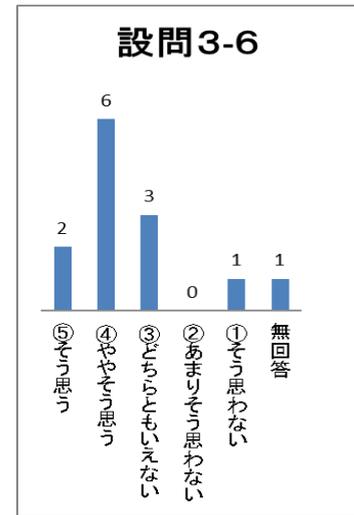
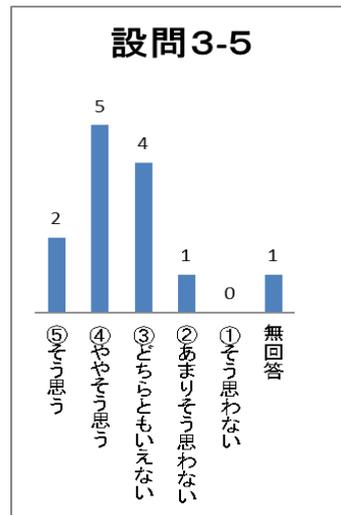
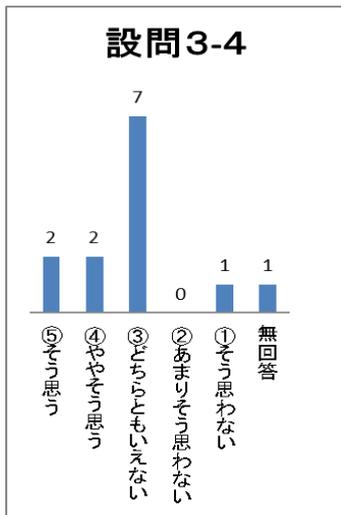


設問3 : 本学での教育全般について該当する口に ○を入れて下さい

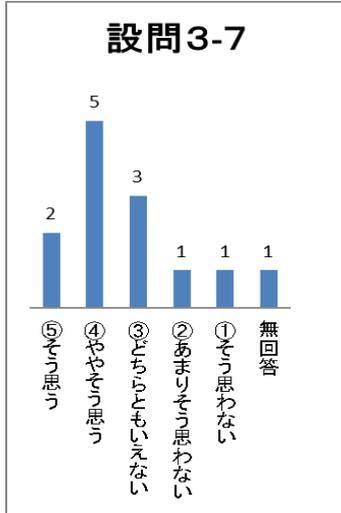
- (1) 専門領域における**知識面**で (2) 専門領域における**技術面**で (3) 一般常識や教養が身につく教育は適切である。 の教育は適切である。 いている。



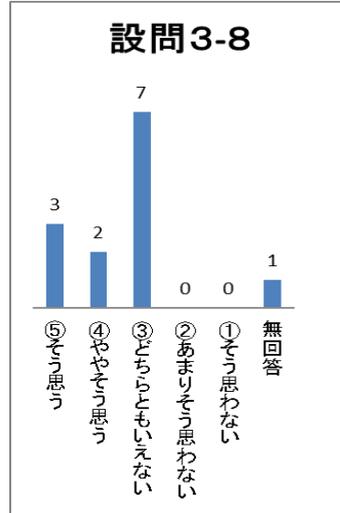
- (4) 人間性の面で適切な教育が (5) 自己(健康・体調)管理に つなされている。 いての教育が適切になされ ている。 (6) コミュニケーション教育が 適切になされている。



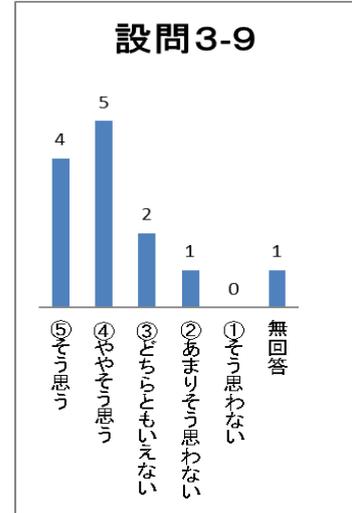
(7)笑顔・挨拶を含めた接遇が
身についている。



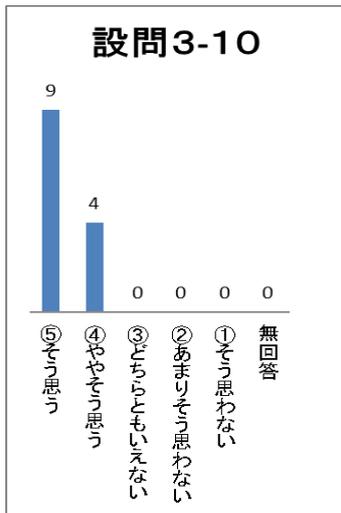
(8)短大で身につけた能力を
発揮している。



(9)短期大学での教育は、
総合的に満足である。



(10)今後も本学(短期大学)の卒
業生を採用したいと思う。



平成 30 年度実施 卒業生対象の追跡調査【保健福祉学科】

【全体概要】

- 1) 保健福祉学科 17 期生(平成 29 年度卒業)への卒後 1 年目アンケートの回収率は、45.45% (5/11 名)であった。17 期生の主な就職先は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障がい者関係施設であり、全員が介護福祉士として採用されている。本学で充実すべき教育内容(科目)について、ほぼ全ての項目において充実すべきであるとの回答であるが、特に「⑤ コミュニケーション技術①(介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション)」「⑩認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など)」と答えている割合が高い。
- 2) 社会人としての能力について、多くの項目は「卒業時身についていた」「卒後 1 年目で身についた」と感じているが、「③目標に向かって人や集団をひっぱる力」「⑤やる気を維持する力」「⑧課題解決のための計画を立案する力」に関しては自分にとって不足し、本学で充実強化させて欲しいと感じている。
- 3) 本学での教育全般について、ほぼ全ての項目で肯定的な評価であった。
- 4) 就職先アンケートの回収率は 60%であった。
- 5) 就職先が本学で充実すべき教育内容(科目)について、「②人間関係とコミュニケーション(対人関係や受容・共感・傾聴など)」について「強くそう思う」と全員が回答している。ついで「強くそう思う」「思う」と高い割合を示したのは、「①人間の尊厳と自立(「人間」の多面的理解や人権尊重など)」「⑥コミュニケーション技術②(介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携)」「⑦コミュニケーション技術③(上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術)」の割合が高かった。
- 6) 社会人としての能力について、ほぼ全ての項目において施設で求められる重要な能力と回答している一方、短期大学(本学を含む)を卒業した職員に不足していると思う能力については、「③目標に向かって人や集団をひっぱる力」「⑧課題解決のための計画を立案する力」「⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力」と回答したものの割合が高かった。

【課題】

- 1) 卒業生へのアンケートは、卒業生の現在の就業状況(キャリアアップ)を把握すると同時に、本学の教育効果を検証することで今後の教育改善につなげる役割もあるが、まず回収率が低いことが課題として挙げられる。アンケート用紙に助言教員が手書きのコメントを付して同封するなどを行っているものの、回収率が低い。そのため、同窓会の活用、同窓会を通じてSNSなど卒業生が連絡しやすいフォーマットを活用するなど卒業生との“繋がり”を強化したい。
- 2) 本学で充実すべき教育内容(科目)や社会人としての能力について、就職先が求めている内容は利用者、家族とのコミュニケーションを充実して欲しいとの傾向にある。就職先の本学の教育全般についての評価においても、コミュニケーション教育が身に付いたという回答の割合が低いことから、コミュニケーション教育を見直す必要があると考える。専門教育としてのコミュニケーションはもちろん、「施設以外でのコミュニケーションや社会人としての教養を教えるような、職場での実習を実施されることを望む」との意見にあるようなジェネリックスキルとしてのコミュニケーション教育の取組を検討したい。また認知症の利用者、家族に対する対応などの声も多い。コミュニケーション授業内で行っているもの以外にも家族とのコミュニケーションに焦点を当てた教育などより現場を想定した演習を行い、現場のニーズに対応する教育を行っていきたい。

アンケート集計結果【卒業生対象】

福岡医療短期大学 保健福祉学科同窓会会員（卒業生）へのアンケート

保健福祉学科 17 期生 (H29 年度卒) : 回答 5/11 名【男性 1 名、女性 4 名】

2019. 3. 1 郵送

I) 就業状況について、お聞かせください

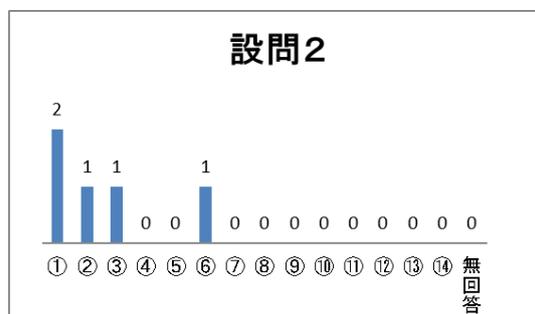
設問 1 : あなたの性別・年齢についてお答えください。

- 男性:1/2 人
- 女性:4/9 人
- 年齢:表参照

設問1(年齢)	
21歳	1
24歳	1
29歳	1
41歳	1
59歳	1

設問 2 : 現在の就職・進学先 について該当する番号に○をつけてください。

- ①介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- ②介護老人保健施設
- ③障がい者関係施設
(身体・知的・精神・重症心身)
- ④医療機関
- ⑤グループホーム・小規模多機能型施設
- ⑥有料老人ホーム
- ⑦通所施設(デイケア、デイサービス)
- ⑧訪問介護
- ⑨居宅介護支援事業所
- ⑩その他の社会福祉領域(公務員等としての福祉業務)
→具体的に(回答なし)
- ⑪社会福祉領域以外の職種(福祉領域以外での就職)
→具体的に(回答なし)
- ⑫進学・学生(大学、短期大学、専門学校 等)
→具体的に(回答なし)
- ⑬現在は就職・進学していない(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)



⑭その他

→具体的に(回答なし)

設問3： **現在の職場** において活用している資格について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

①介護福祉士

②ケア・マネジャー

③社会福祉士

④看護師

⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

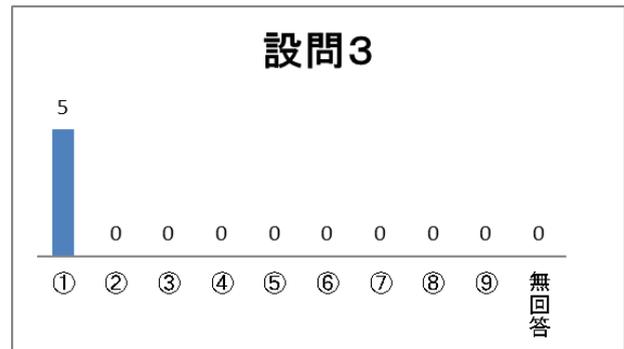
⑥社会福祉主事任用資格

⑦認知症ケア専門士

⑧なし(他業種での就業時 等)

⑨その他

→具体的に(回答なし)



設問4： **現在の職場** におけるポジション（役職を含めて）と雇用形態について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

■ ポジション（役職等）について

①職場の長・責任者

②主任、フロア・リーダー等の役職

→具体的に(回答なし)

③実習学生、新人の指導者

→具体的に(回答なし)

④相談員等の相談業務

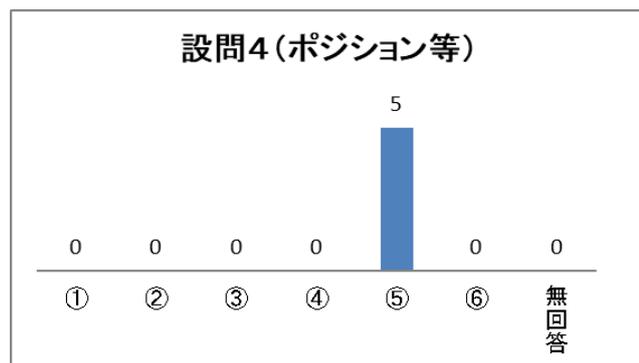
→具体的に

・生活相談員

⑤特に役職・肩書きなし

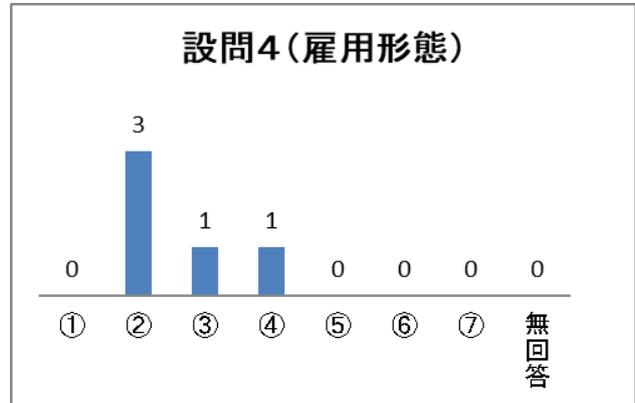
⑥その他のポジション

→具体的に(回答なし)



■雇用形態について

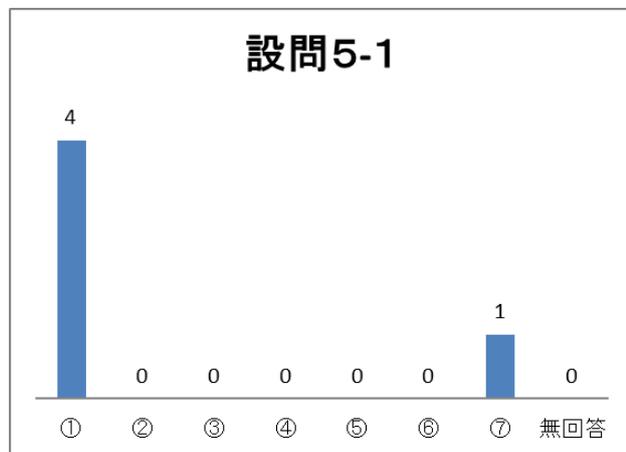
- ① 経営者・自営(共同経営、共同出資)
- ② 正規職員・社員(正規雇用)
- ③ 嘱託職員(期限限定の雇用)
→雇用年限:5年間
- ④ 非常勤(パートタイマー)
- ⑤ 契約社員・職員、派遣社員に準ずる
契約形態
- ⑥ 進学・学生
(大学、短期大学、専門学校 等)
- ⑦ 就職・進学していない
(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)



設問5-1：卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。

〔平成31年3月末(予定を含む)でお答えください〕

- ① 卒業してから現在まで
同じ勤務先(施設)で働いている
- ② 最初の職場を退職したが、
1ヶ月以内に介護福祉士として
再就職した
- ③ 最初の職場を退職し、
1ヶ月以上離職したが再就職した
- ④ 最初の職場を退職し、
その後再就職していない
- ⑤ 一時的に仕事に就いた
- ⑥ 卒業してから就職していない
- ⑦ その他
→具体的に(回答なし)



設問5-2：「転職 経験あり」の方のみ、お答えください：

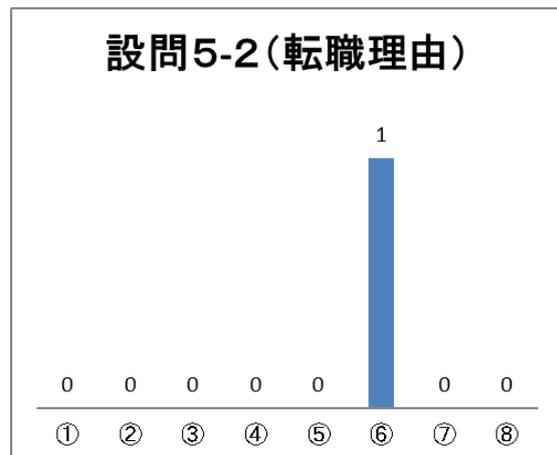
→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

・デイサービス 2 票

→ その理由は、なにでしたか？該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- ①腰痛等の「身体的・体力的」な問題
- ②医療・福祉領域における「精神的」な負担
- ③介護福祉士としてのキャリアアップのため
- ④給与などの経済的な理由
- ⑤「人間関係・待遇」などの職場内の問題
- ⑥他の職種に興味を持ったため
- ⑦出産・子育て等のため
- ⑧その他

→具体的に(回答なし)



Ⅱ) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください

設問6：本学で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、

◎＝強く思う、○＝思う の記号をつけてください。



- ① 人間の尊厳と自立(「人間」の多面的理解や人権尊重など)
- ② 人間関係とコミュニケーション(対人関係や受容・共感・傾聴など)
- ③ 社会の理解(介護保険制度や障害者総合支援法など)
- ④ 介護の基本(介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など)
- ⑤ コミュニケーション技術①(介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション)
- ⑥ コミュニケーション技術②(介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携)
- ⑦ コミュニケーション技術③(上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術)
- ⑧ 生活支援技術①(自立に向けた居住環境の整備など)
- ⑨ 生活支援技術②(自立に向けた形態別介護技術)
- ⑩ 生活支援技術③(自立に向けた家事など)
- ⑪ 生活支援技術④(終末期の介護やグリーフケアなど)
- ⑫ 介護過程①(介護過程の意義や展開など)
- ⑬ 介護過程②(介護過程とチームアプローチなど)
- ⑭ 介護総合演習(事例検討・演習の充実など)
- ⑮ 介護実習(介護福祉施設実習や居宅介護実習など)
- ⑯ 発達と老化の理解(老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点)
- ⑰ 認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など)
- ⑱ 障害の理解(医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど)
- ⑲ こころとからだのしくみ①(人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など)
- ⑳ こころとからだのしくみ②(心理的側面への配慮についてなど)
- ㉑ 口腔ケアの基礎知識
- ㉒ 医療的ケアの基礎知識(たんの吸引や胃瘻の管理など)
- ㉓ その他 () → 回答なし

設問7：短期大学の専門教育の中で強化・充実してほしいと思う能力 について、その理由や取組（教育プログラム）のアイデアなどがあれば、記入してください。

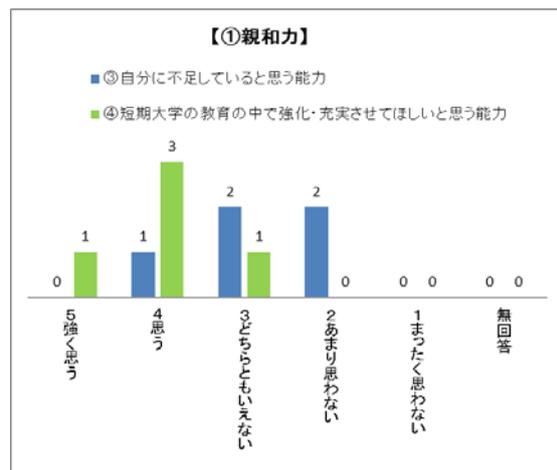
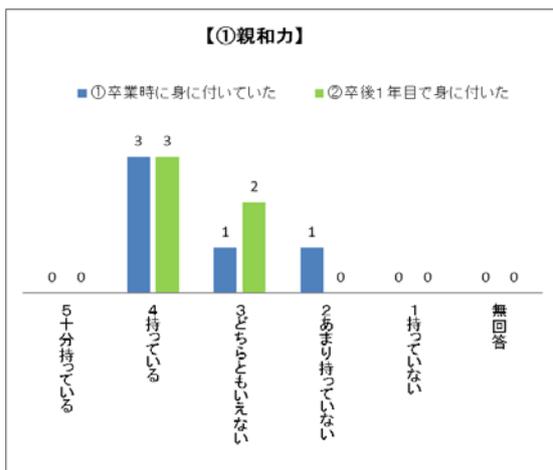
- ・介護技術、認知症などの対応の仕方。コミュニケーション能力。

設問8：社会人としての能力について、お聞かせください。

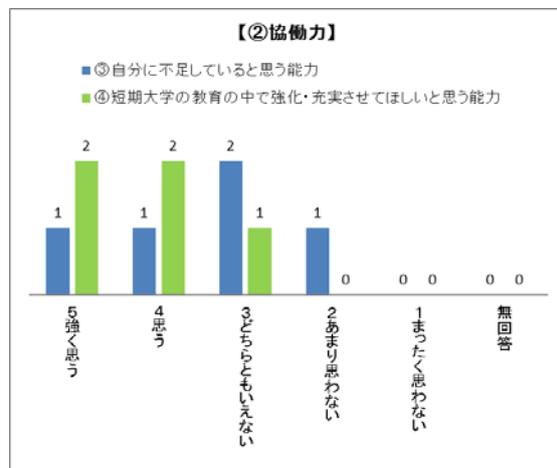
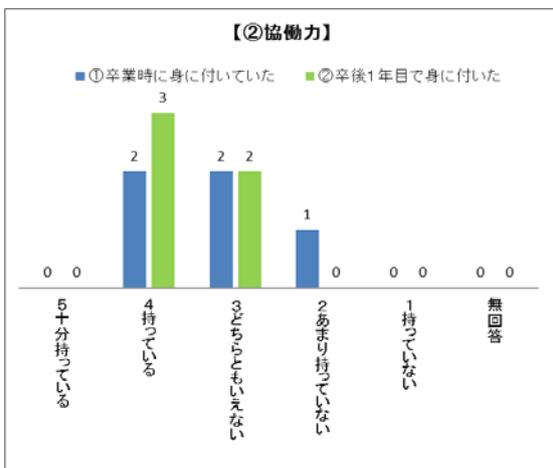
- ①卒業時に身に付けていた程度
- ②卒業後1年目に身に付けていた程度
- ③自分に不足していると思う能力
- ④短期大学の教育の中で強化・充実させてほしいと思う能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

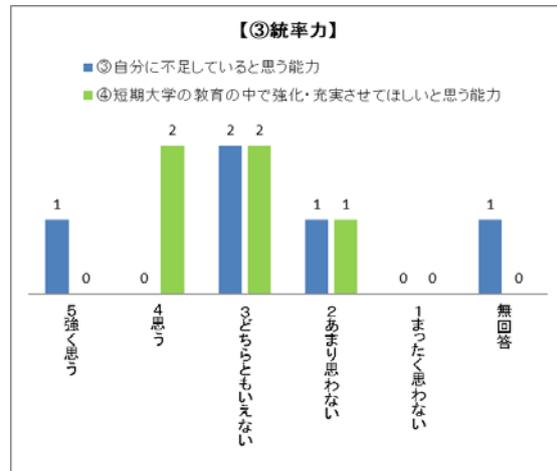
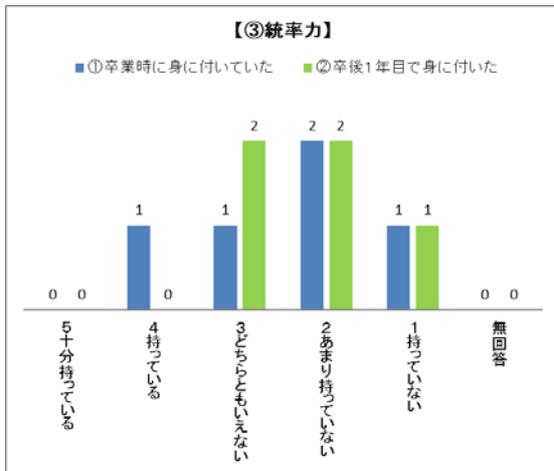
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力:対人基礎力1〕



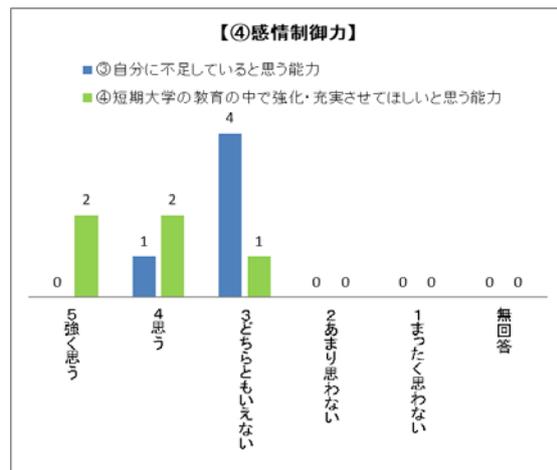
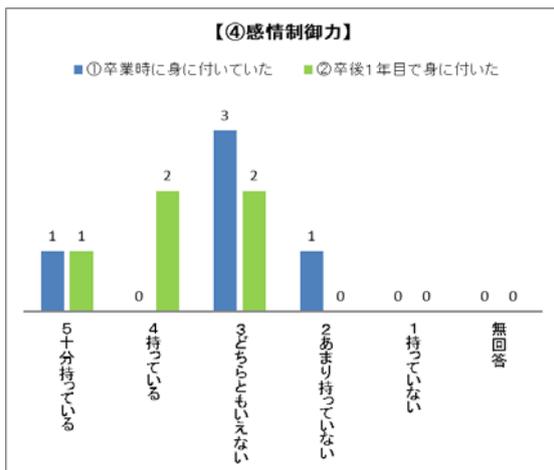
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力:対人基礎力2〕



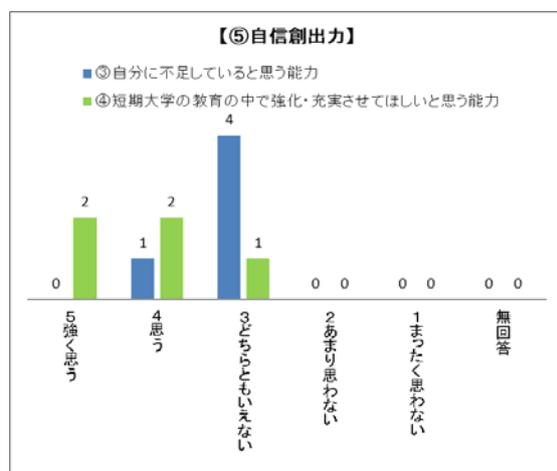
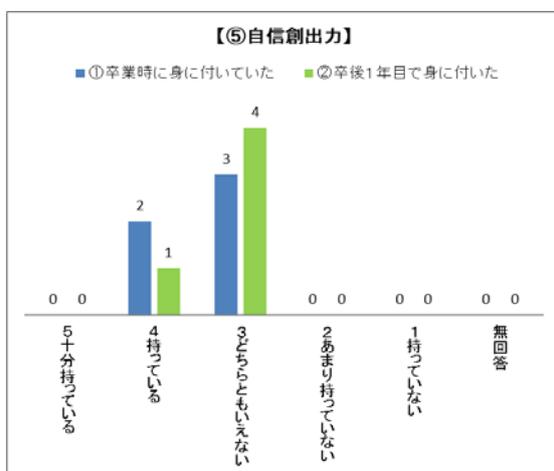
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力:対人基礎力3〕



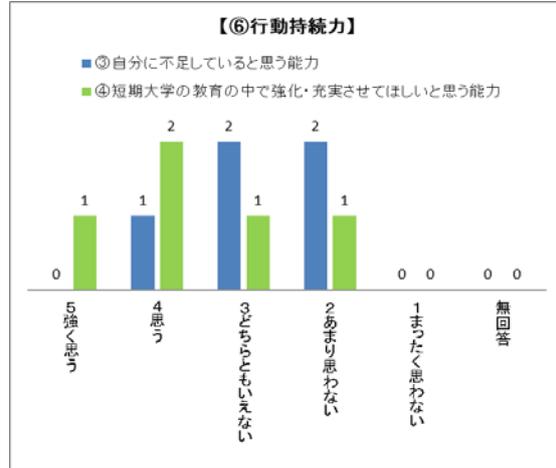
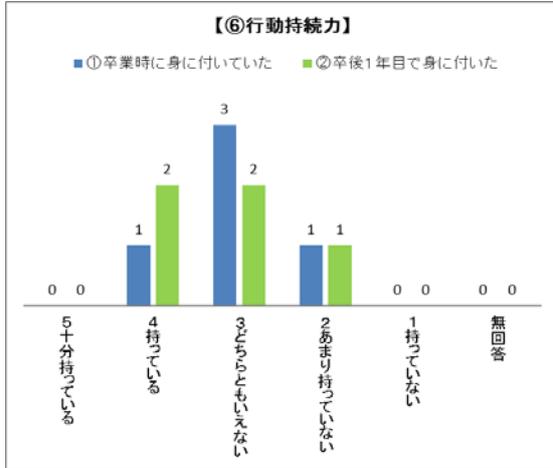
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力:対自己基礎力1〕



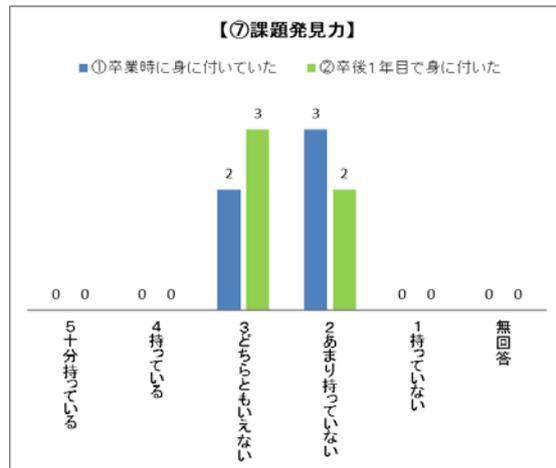
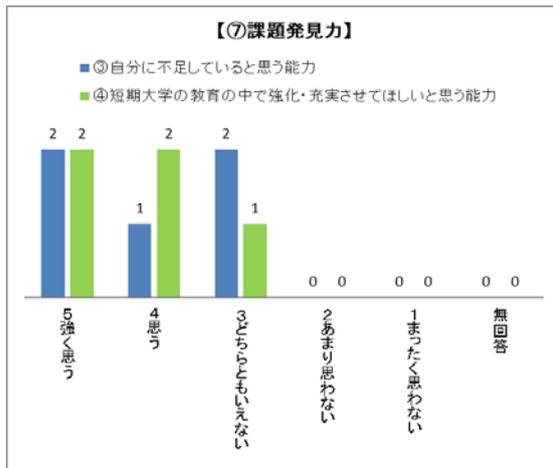
(5) やる気を維持する力〔自信創出力:対自己基礎力2〕



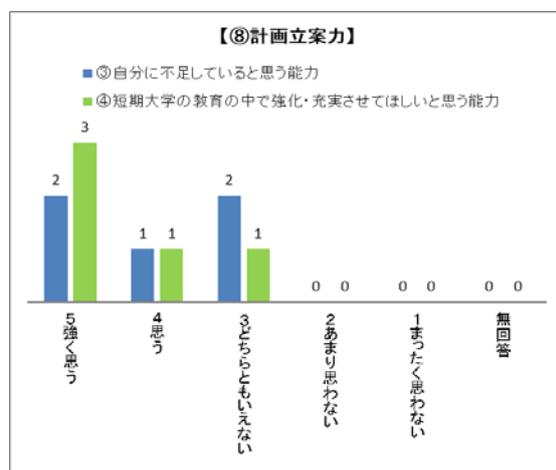
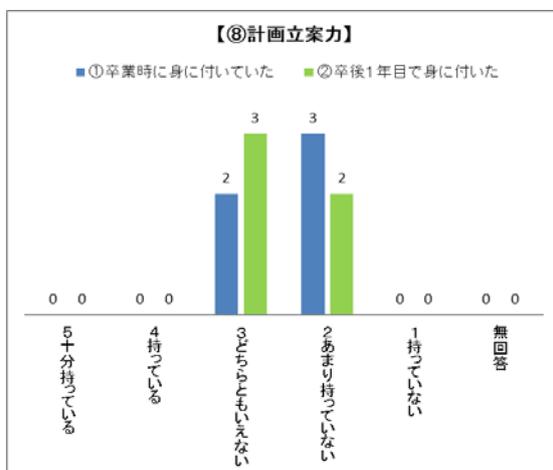
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力:対自己基礎力3〕



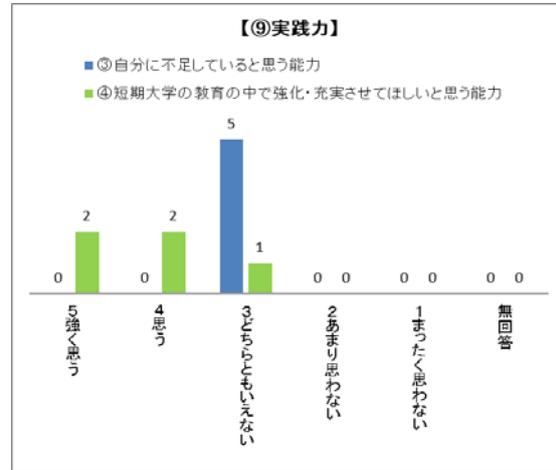
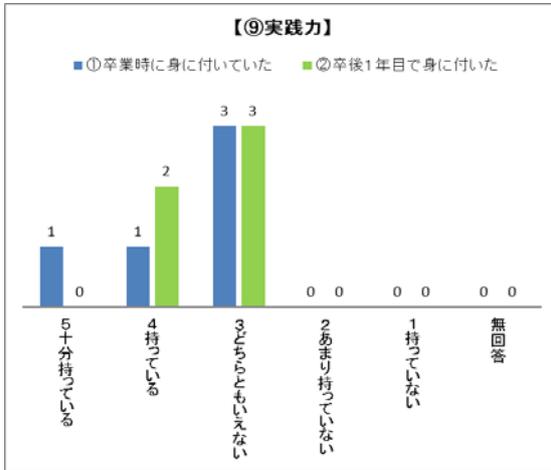
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力:対課題基礎力1〕



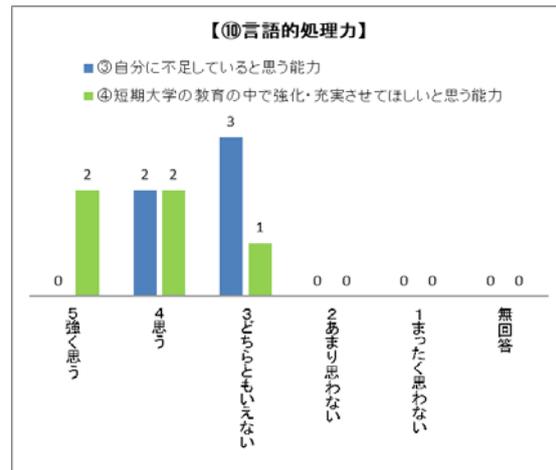
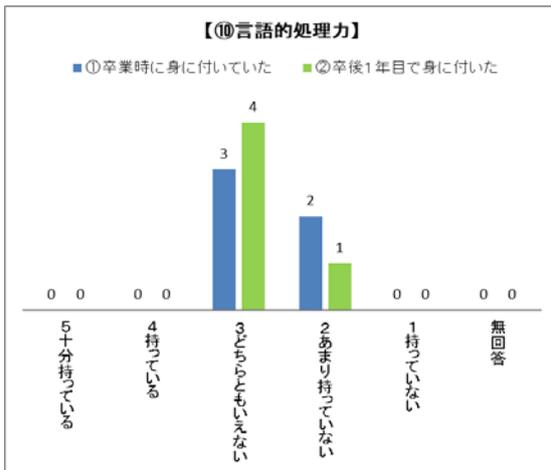
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力:対課題基礎力2〕



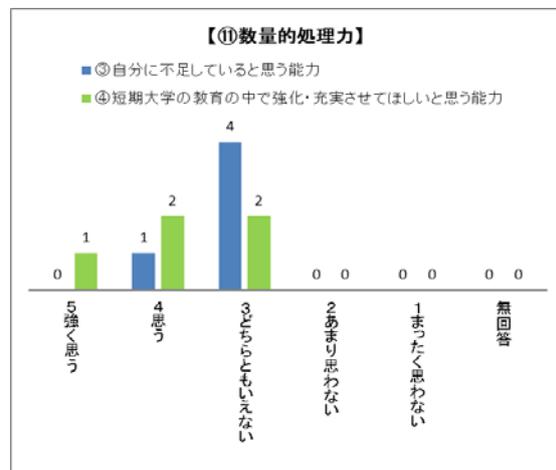
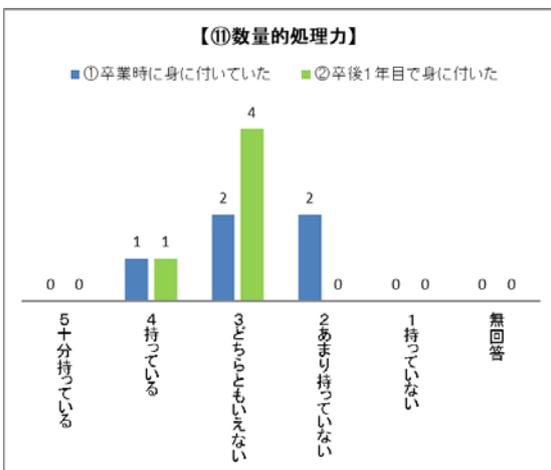
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力:対課題基礎力3〕



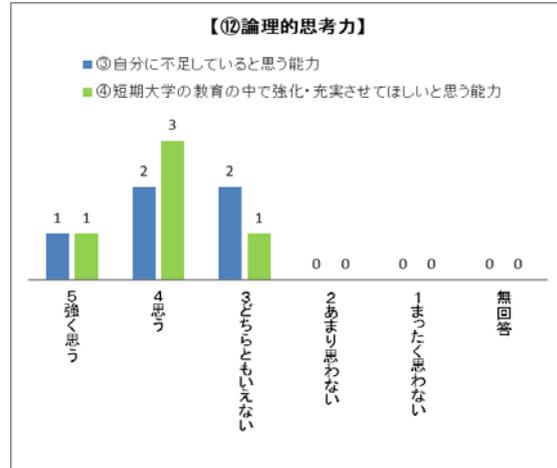
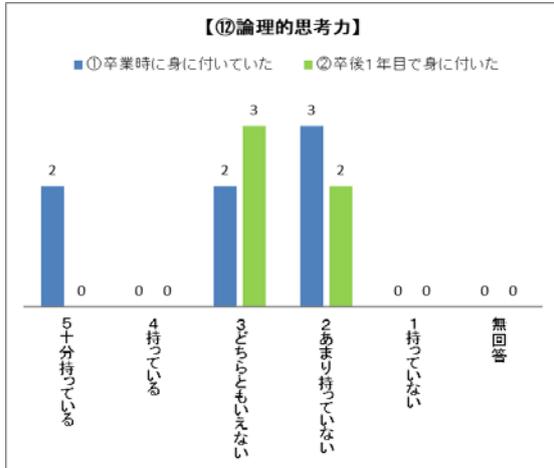
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力:処理力1〕



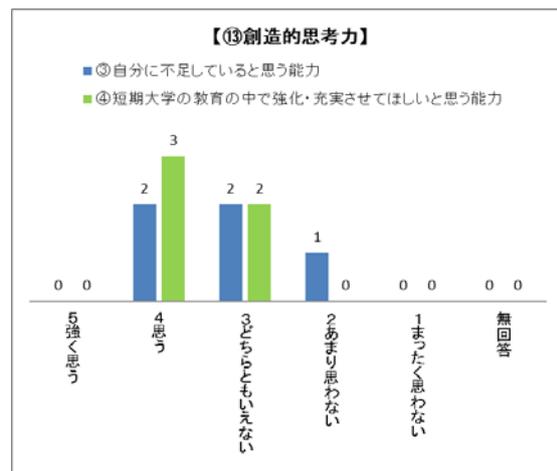
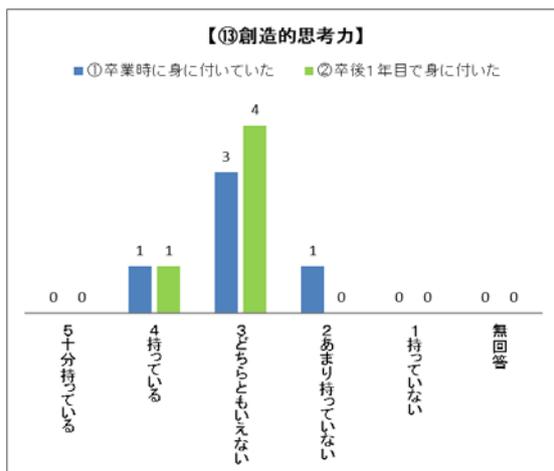
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力:処理力2〕



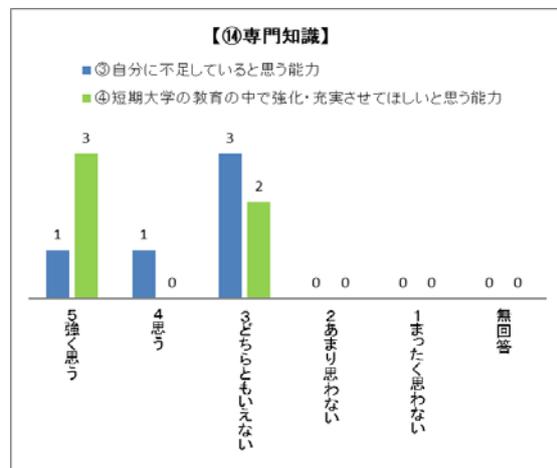
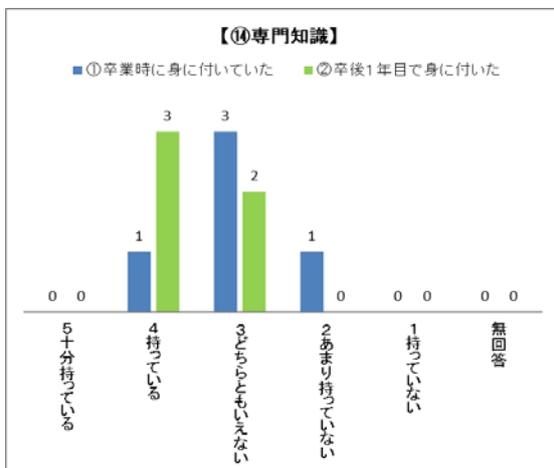
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力:思考力1〕



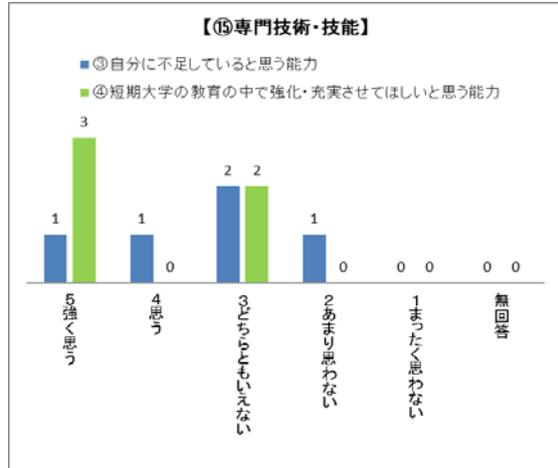
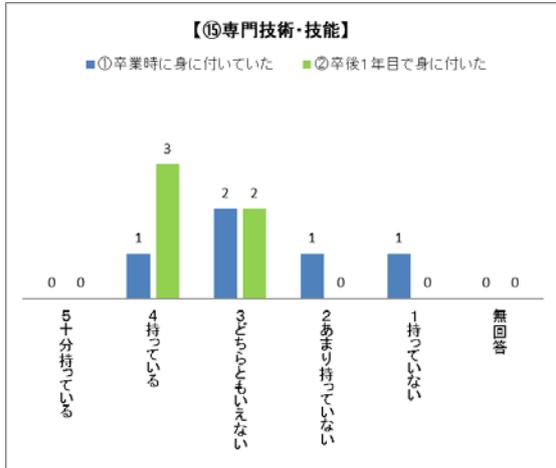
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力:思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識:専門力1〕

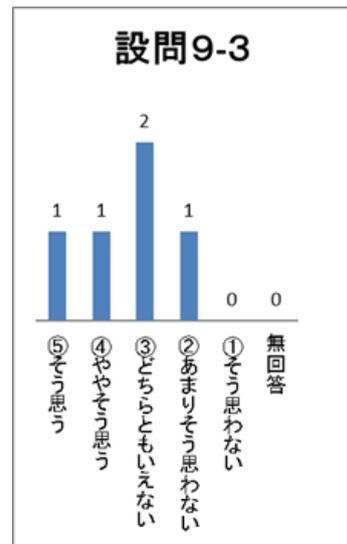
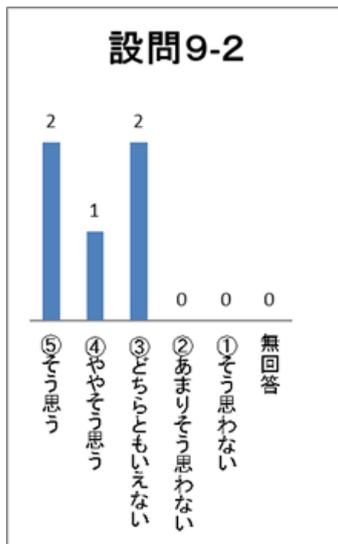
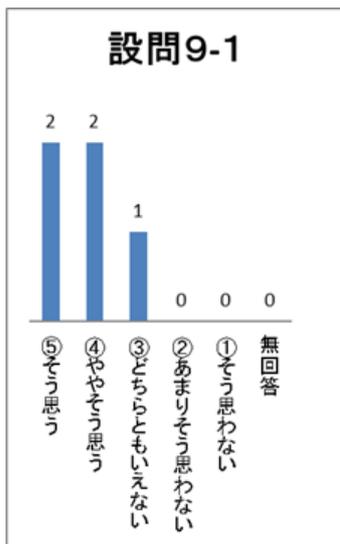


(15)現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能:専門力2〕



設問9：本学での教育全般について該当する口に ○を入れて下さい

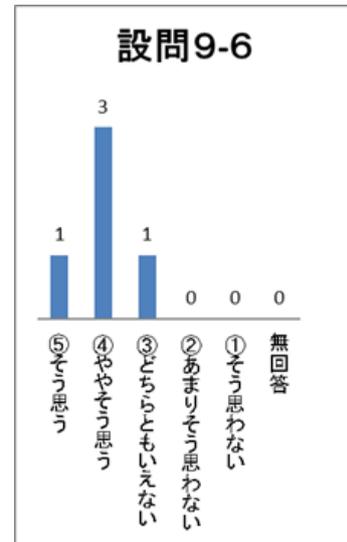
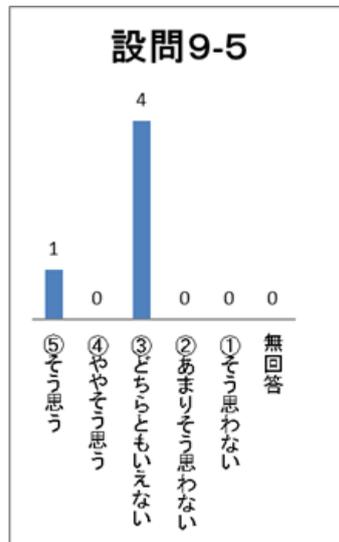
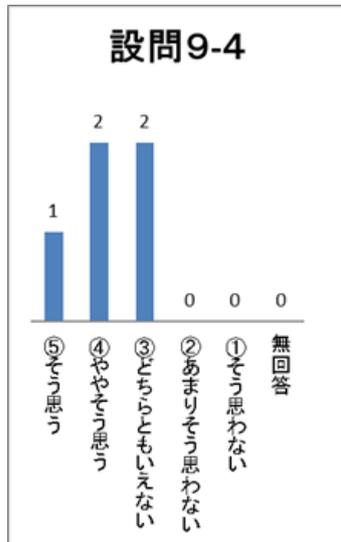
- 1)専門領域における知識面で 2)専門領域における技術面で (3)一般常識や教養が身につく
 の教育は適切であった。 の教育は適切であった。 いた。



(4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。

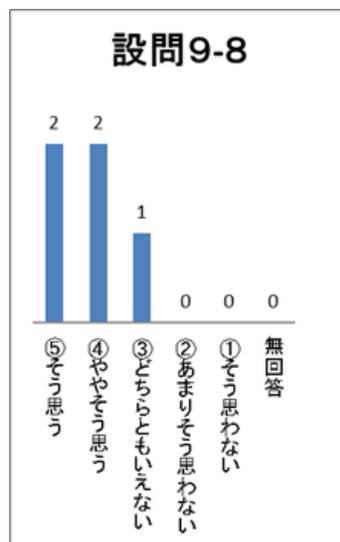
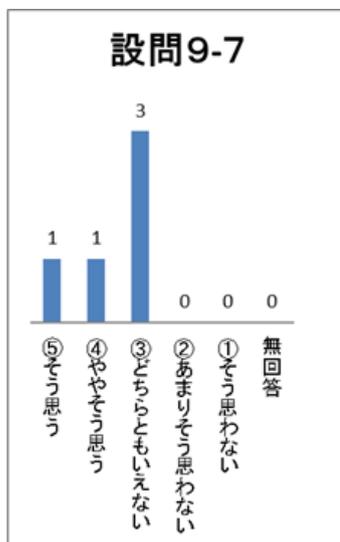
(5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされていた。

(6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



(7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。

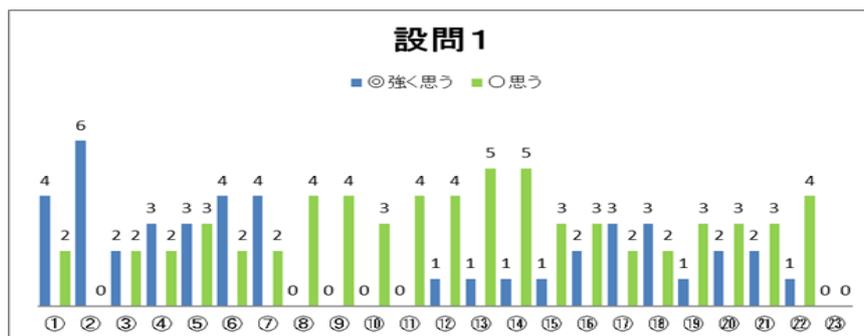
(8) 短期大学での教育は、総合的に満足であった。



福岡医療短期大学 保健福祉学科 卒業生に関するアンケート

保健福祉学科 17期卒業生就職先施設 (6/10件) 対象 2019.3.1 郵送

設問1：短期大学（本学を含む）で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、**◎＝強く思う**、**○＝思う** の記号をつけてください。

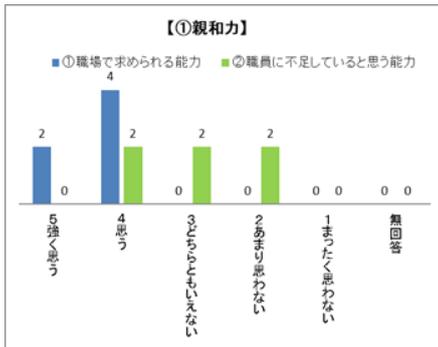


- ①人間の尊厳と自立(「人間」の多面的理解や人権尊重など)
- ②人間関係とコミュニケーション(対人関係や受容・共感・傾聴など)
- ③社会の理解(介護保険制度や障害者総合支援法など)
- ④介護の基本(介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など)
- ⑤コミュニケーション技術①(介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション)
- ⑥コミュニケーション技術②(介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携)
- ⑦コミュニケーション技術③(上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術)
- ⑧生活支援技術①(自立に向けた居住環境の整備など)
- ⑨生活支援技術②(自立に向けた形態別介護技術)
- ⑩生活支援技術③(自立に向けた家事など)
- ⑪生活支援技術④(終末期の介護やグリーフケアなど)
- ⑫介護過程①(介護過程の意義や展開など)
- ⑬介護過程②(介護過程とチームアプローチなど)
- ⑭介護総合演習(事例検討・演習の充実など)
- ⑮介護実習(介護福祉施設実習や居宅介護実習など)
- ⑯発達と老化の理解(老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点)
- ⑰認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など)
- ⑱障害の理解(医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど)
- ⑲こころとからだのしくみ①(人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など)
- ⑳こころとからだのしくみ②(心理的側面への配慮についてなど)
- ㉑口腔ケアの基礎知識
- ㉒医療的ケアの基礎知識(たんの吸引や胃瘻の管理など)
- ㉓その他 → 具体的に
 - ・社会人のルールとマナー

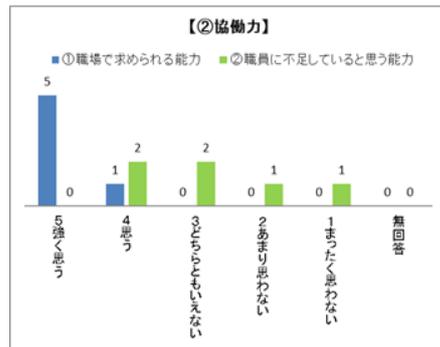
設問2：社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学（本学を含む）を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

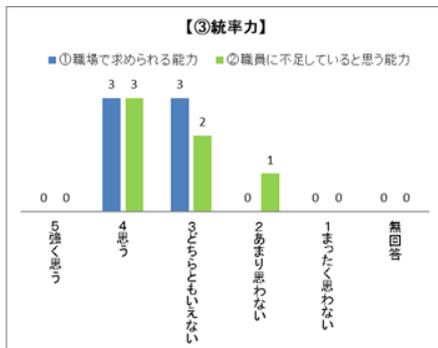
(1) 円満な人間関係を築く力
〔親和力: 対人基礎力1〕



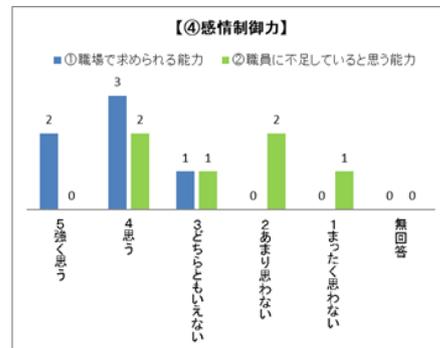
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力
〔協働力: 対人基礎力2〕



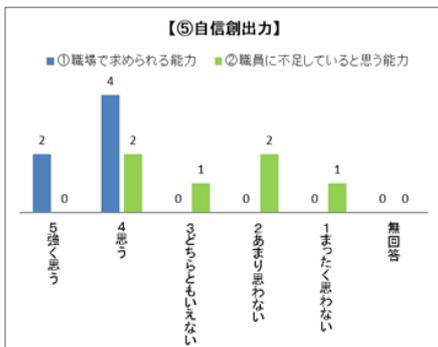
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力
〔統率力: 対人基礎力3〕



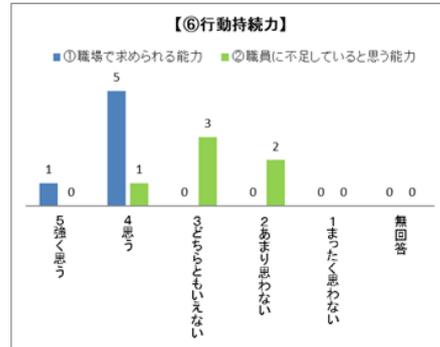
(4) 自分の感情をコントロールする力
〔感情制御力: 対自己基礎力1〕



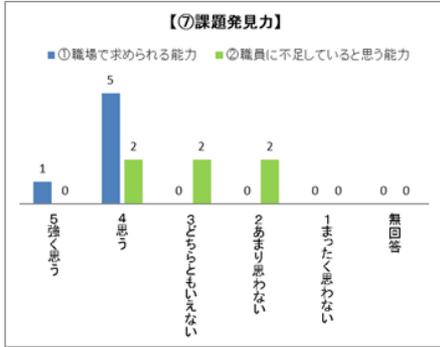
(5) やる気を維持する力
〔自信創出力: 対自己基礎力2〕



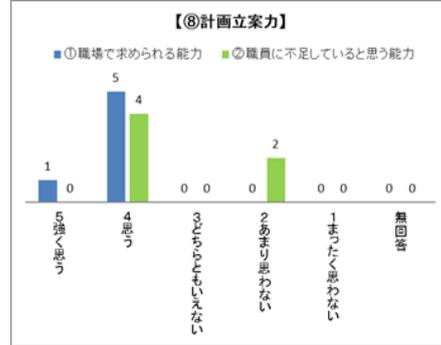
(6) 良い行動を習慣として続けられる力
〔行動持続力: 対自己基礎力3〕



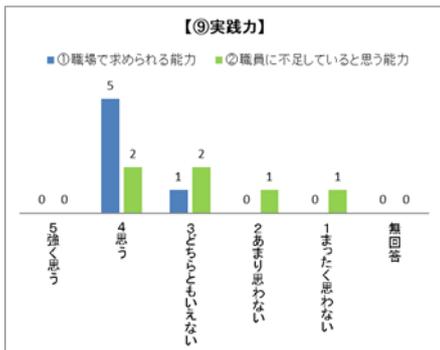
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力
 [課題発見力:対課題基礎力1]



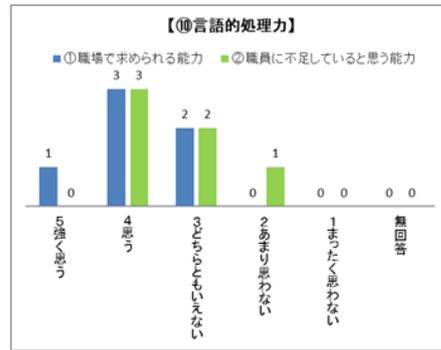
(8) 課題解決のための計画を立案する力
 [計画立案力:対課題基礎力2]



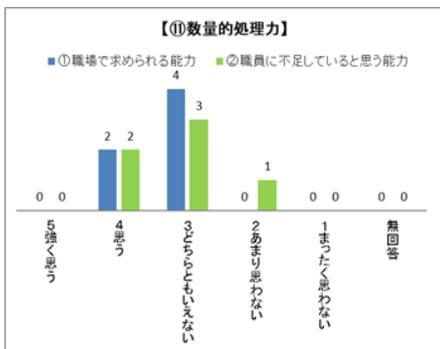
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力
 [実践力:対課題基礎力3]



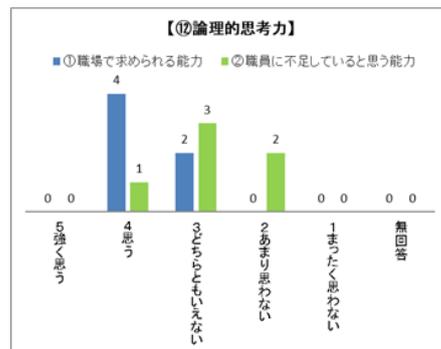
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力
 [言語的処理力:処理力1]



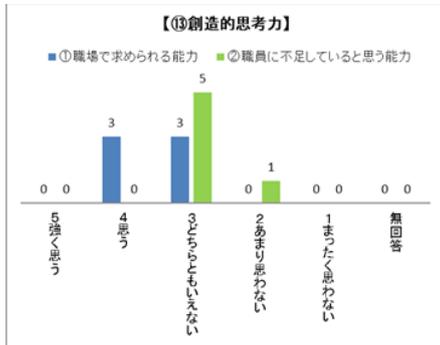
(11) データや数字をすばやく読み取る力
 [数量的処理力:処理力2]



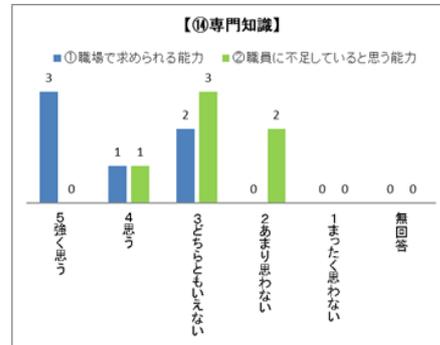
(12) 論理的に物事を分析・構築する力
 [論理的思考力:思考力1]



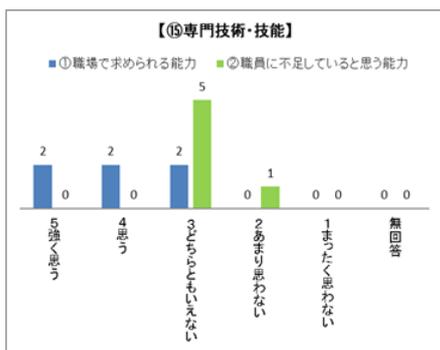
(13) 独自のものの見方や考え方をする力
〔創造的思考力:思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識
〔専門知識:専門力1〕

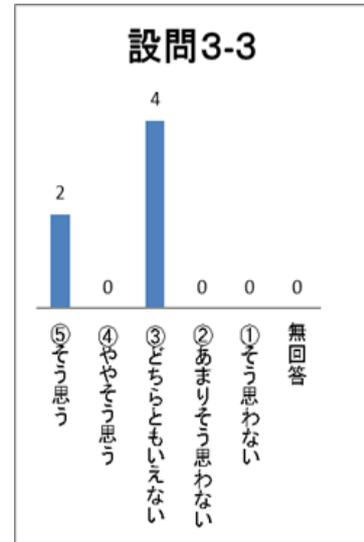
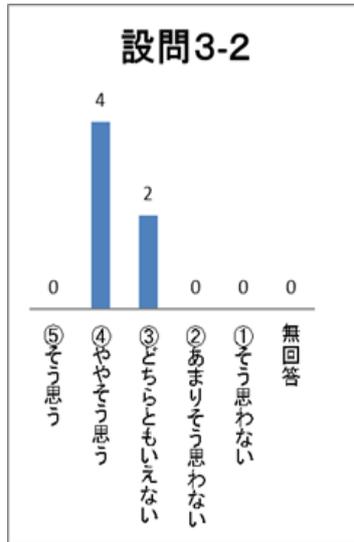
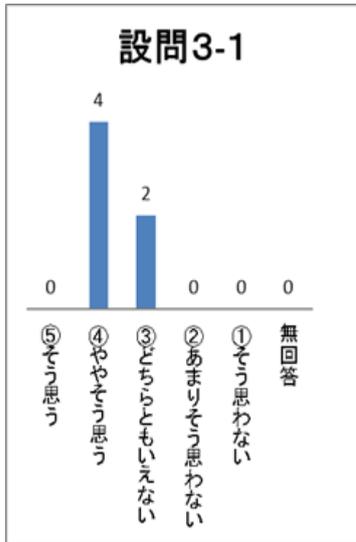


(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術や
ノウハウ〔専門技術・技能:専門力2〕

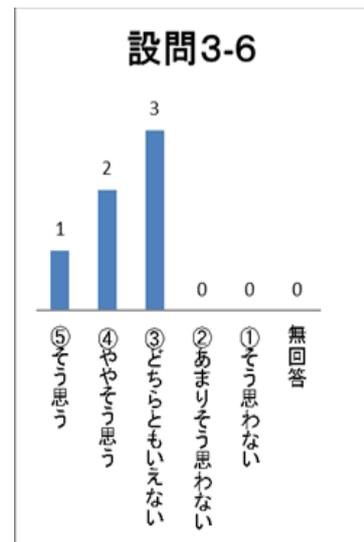
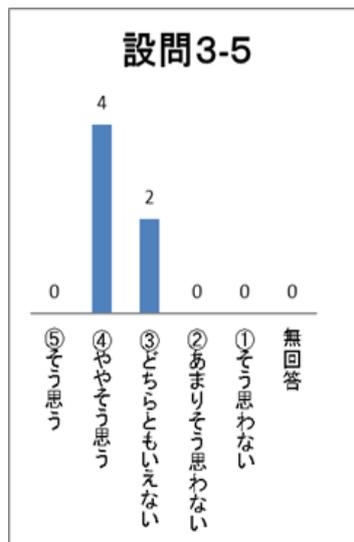
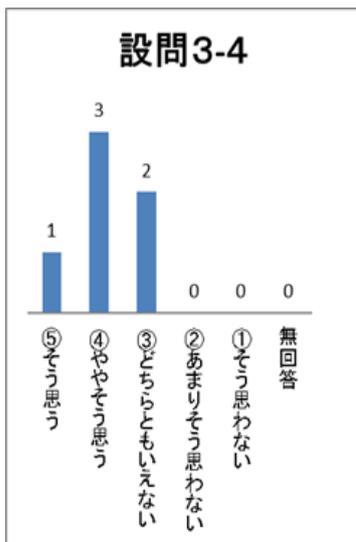


設問3：本学での教育全般について該当する口に ○を入れて下さい

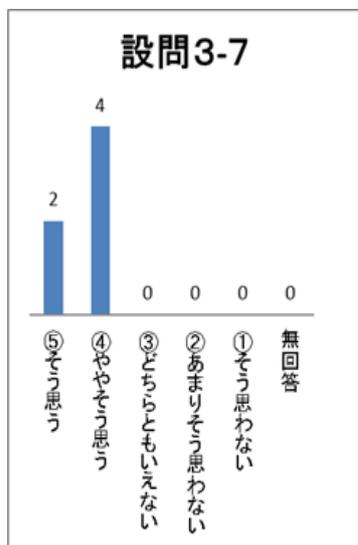
- (1) 専門領域における 知識面 での教育は適切である。
 (2) 専門領域における 技術面 での教育は適切であった。
 (3) 一般常識や教養が身に ついている。



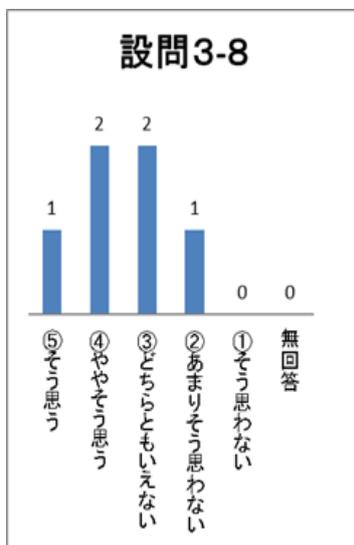
- (4) 人間性の面で適切な教育がなされている。
 (5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされている。
 (6) コミュニケーション教育が適切になされている。



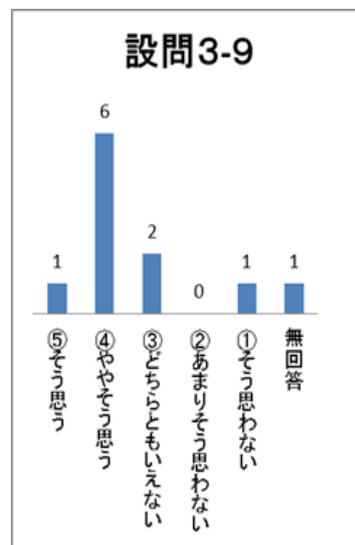
(7)笑顔・挨拶を含めた接遇が
身についている。



(8)短大で身につけた能力を
発揮している。



(9)短期大学での教育は、総
合的に満足である。



(10)今後も本学(短期大学)の
卒業生を採用したいと思
う。

